別冊1

# 上越市通年観光計画の進捗状況について

文化観光部
令和7年2月12日(水)

# ― 目 次 ―

1　計画の概要 …… 3～ 8

2　春日山地域の取組 …… 9～12
①春日山地域観光コンテンツ計画等策定業務 …… 13～15
②春日山地域回遊観光計画・施設基本構想策定業務 …… 16～19
③上越市埋蔵文化財センター活用検討案作成業務 …… 20
④春日山城跡総構堀跡探査業務 …… 21
⑤春日山城跡遺構保護・景観整備業務 …… 22
⑥令和6年度地域・日本のレガシー形成事業 …… 24～27

3　直江津地域の取組 …… 28
①上越市鉄道遺産群活用基本計画策定業務 …… 29～34
②直江津屋台会館等を活用した新たな観光産業創出社会実験業務 … 35～39

4　高田地域の取組 …… 40
①浄興寺大門通り修景整備基本計画策定業務 …… 41～45
②高田城枡形門再現可能性調査業務 …… 46～49

# 1　計画の概要

# 上越市通年観光計画の概要-上越市の観光地域づくり-

上越市 JOETSU CITY

## 1 計画期間

令和6(2024)年度～令和12(2030)年度

## 2 基本方針

■ 通年観光の考え方

目指す姿　　：歴史・文化の伝承
目的(あるべき姿)　：来訪者が市民の日常に溶け込み楽しむ観光地域
目標(具体的指標)　：繁忙期(4月、7月、8月)以外の入込客数の底上げ
手段(目標を達成するための方法)　：観光地域づくり

■ 上越市の観光地域づくりの概要

①「まち・暮らしづくり」と「新しい観光産業の創出」の両立を図る。
②1日からの住民をまちに迎える。
　まずは、日帰り観光から1～2泊の宿泊観光を目指す。
③ビジネスが生まれやすいコンスタントな集客を目指す。
④通年観光の効果が地域全体に及ぶよう取り組む。

■ 観光地域づくりコンセプト

全　体　”越後の都 誇れる上越の3つの暮らしと心意気”

春日山　”義の心と強さに出会う「謙信公の春日山城」”
直江津　”歴史と人情の「日本海うみまち」”
高　田　”雁木でつながる「花咲く共助の城下町」”

## 3 計画の目標(令和12年度)

■ 当面目標とする通年観光のイメージ
「継続的な集客により民間ビジネスや観光サービスが生まれ始める状態」

■ 数値目標

| | | | |
|---|---|---|---|
| 通年観光計画 | 3地域の月別観光客数(イベントを除く) | | (令和元年度比)1.3倍 |
| | 一人当たり観光消費額 | 県外日帰り | (令和元年) 4,345円 → (県水準) 11,000円 |
| | | 県外宿泊 | (令和元年) 17,380円 → (県水準) 35,000円 |
| 第7次総合計画 | 4-2-1観光振興の強化 | 市内への観光客入込数 | (令和元年-3年平均) 3,170千人 → 6,040千人 |
| | | 観光消費額 | (令和元年-3年平均) 10,500百万円 → 25,400百万円 |
| | | 上越観光Naviの閲覧件数 | (令和3年度) 1,575,000PV → 1,890,000PV |

## 4 主な施策

【総概算事業費4,919百万円】

■ 春日山地域　【概算事業費3,680百万円】

- ✓ 植林伐採
- ✓ (仮称)馬場広場改修
- ✓ 「総構」復元整備
- ✓ 観光拠点施設整備

■ 直江津地域　【概算事業費1,005百万円】

- ✓ 直江津D51レールパーク拡充整備(鉄道博物館)
- ✓ D51形蒸気機関車75号機　移設・動態保存
- ✓ 直江津屋台会館・海浜公園利活用社会実験・自立的な事業スキームの検討
- ✓ 船見公園環境整備

■ 高田地域　【概算事業費　234百万円】

- ✓ 雁木・町家の保全に取り組む持続可能なまちづくり組織の検討
- ✓ 観光案内在り方検討
- ✓ 浄興寺大門通りの景観整備
- ✓ 枡形門再現可能性調査研究

**説明**

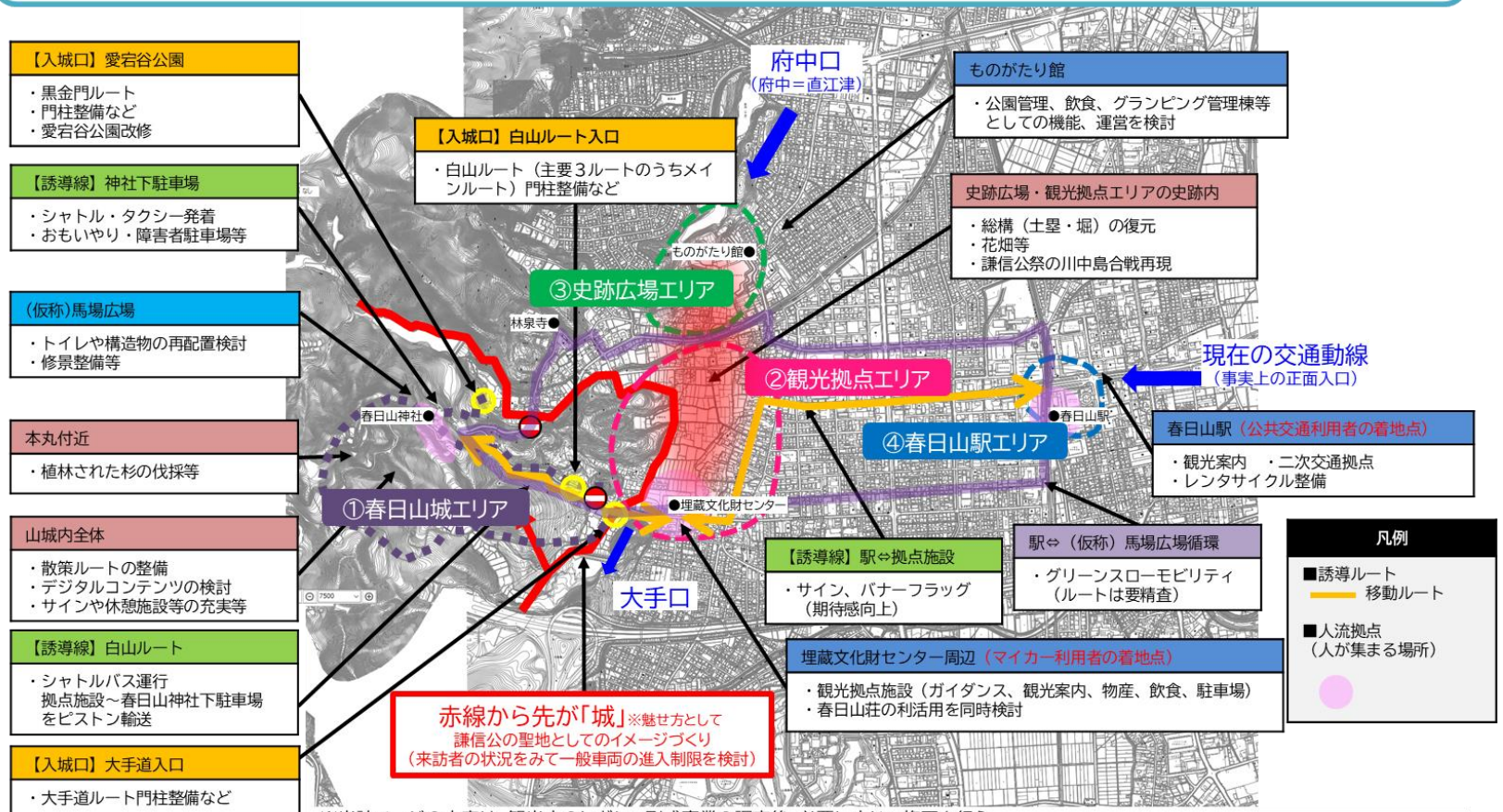
○ 当市は、人口減少を背景として、空き家の増加やそれに起因する街並みの喪失、地域産業の衰退などの地域課題が懸念されている。
○ 同様に、市内にある素晴らしい歴史・文化や地域資源を守り、いかす「担い手」も減少し、これらが失われてしまう危機にある。
○ 本計画では、こうした地域資源をいかした新たな生業創出による歴史・文化の伝承を目指すとともに、交流人口拡大による消費額の向上などを目指す。また、人口流出が多い「若者」や「女性」が働きたくなる場の一つとして「観光」の活性化を目指していく。

# 春日山地域：施策展開図

上越市 JOETSU CITY

○ 観光地域づくりコンセプトである”義の心と強さに出会う「謙信公の春日山城」”の実現に向け、地域資源・エリア特性に沿って事業を展開する。

【概算事業費3,680百万円】




※当該ページの内容は、観光庁のレガシー形成事業の調査後、必要に応じて修正を行う。
※計画期間である令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により実施を判断する。

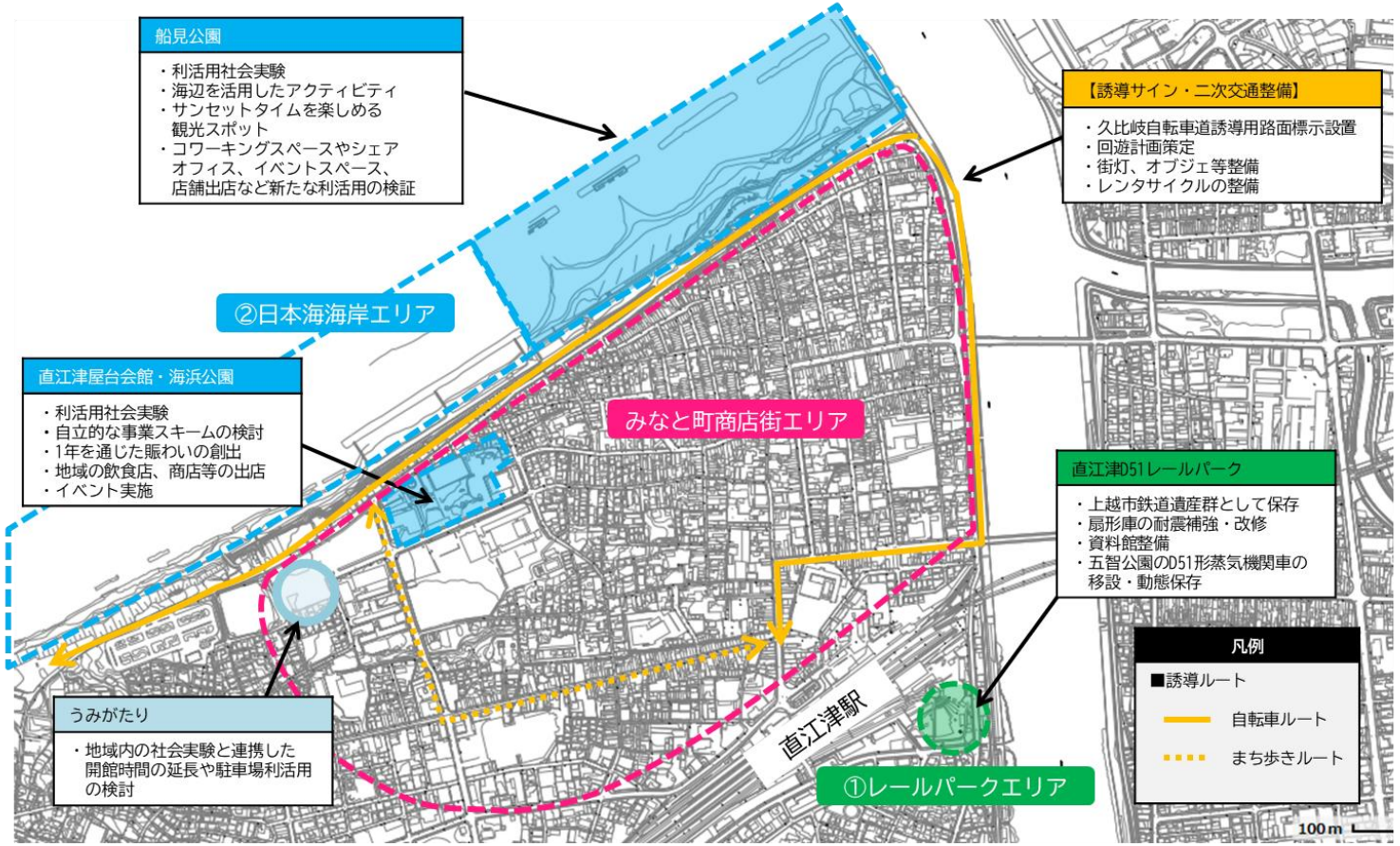
## 説明

○ 春日山地域では、春日山城跡において、植林された杉を伐採し、現存する最古の写真の姿（約100年前）に復元する。
○ 観光庁が実施する「レガシー形成事業」と連携し、散策道や古道、総構等の整備計画の検討を行い、当該計画に基づく整備を行う。
○ 地域全体では、統一された空間づくりに向けてイメージ戦略を検討するとともに、観光コンテンツの創出や観光拠点施設、二次交通、サイン等の受入環境の整備を行う。また、春日山城跡や観光関連施設の維持管理等を行う組織の検討を行う。

# 直江津地域：施策展開図

○ 観光地域づくりコンセプトである”歴史と人情の「日本海うみまち」”の実現に向け、地域資源・エリア特性に沿って事業を展開する。

【概算事業費1,005百万円】




※計画期間である令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により実施を判断する。

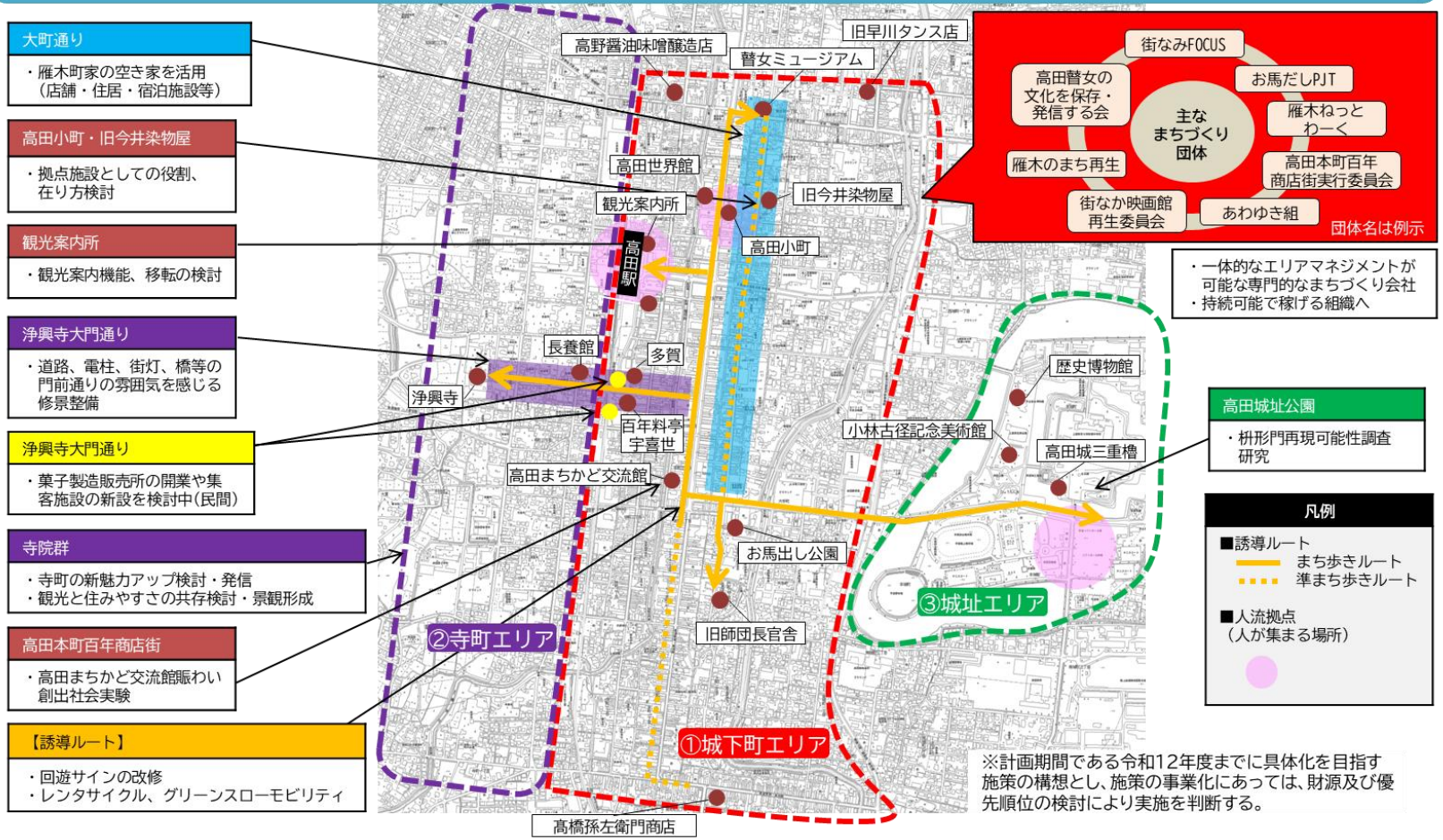
## 説明

○ 直江津地域では、市内の鉄道遺産を「上越市鉄道遺産群」として保存・活用・継承する。新潟県鉄道発祥の地「直江津D51レールパーク」に鉄道遺産の一つである、五智公園のD51形蒸気機関車を移設する。

○ 「直江津屋台会館・海浜公園」や「船見公園」に、飲食や物販を営む人が出店し、稼げる仕組みづくりを行い、地理的利点をいかした賑わいを創出する。また、一体的なエリアマネジメントを担うまちづくり組織の立ち上げに向け、収益化スキームを構築するための社会実験を行う。

# 高田地域：施策展開図

○ 観光地域づくりコンセプトである”雁木でつながる「花咲く共助の城下町」”の実現に向けて、地域資源・エリア特性に沿って事業を展開する。　【概算事業費　234百万円】




## 説明

○ 雁木町家の空き家の活用や歴史・文化の継承に取り組むまちづくり団体の活動を持続可能とするため、体験コンテンツの造成や情報発信等の事業により収益強化する。将来的に、一体的なエリアマネジメントができる組織の設立を目指す。

○ 「花の寺町」、「寺町でカフェ」など、寺町の魅力アップや景観形成に向けた検討を地域と行う。また、浄興寺大門通りの修景整備を行う。

○ 高田城枡形門について、新たな資料の調査や課題の抽出など、再現の可能性について調査研究する。

# 令和6年度予算（通年観光計画関連）

上越市 JOETSU CITY

## 通年観光計画の推進

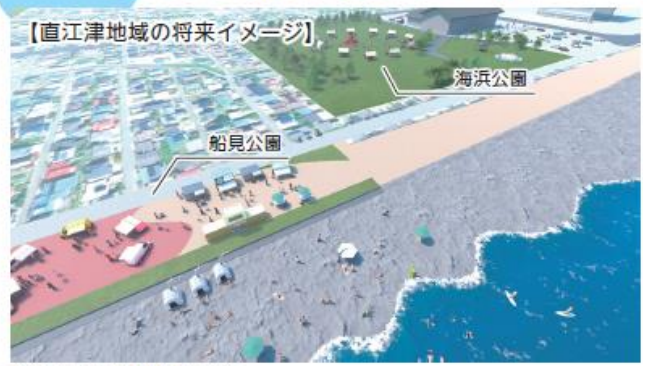
### 春日山

観光地域づくりコンセプト
義の心と強さに出会う「謙信公の春日山城」

※「国土地理院地図」を基に作成

### 直江津

観光地域づくりコンセプト
歴史と人情の「日本海うみまち」




※「国土地理院地図」を基に作成

### 高田

観光地域づくりコンセプト
雁木でつながる「花咲く共助の城下町」

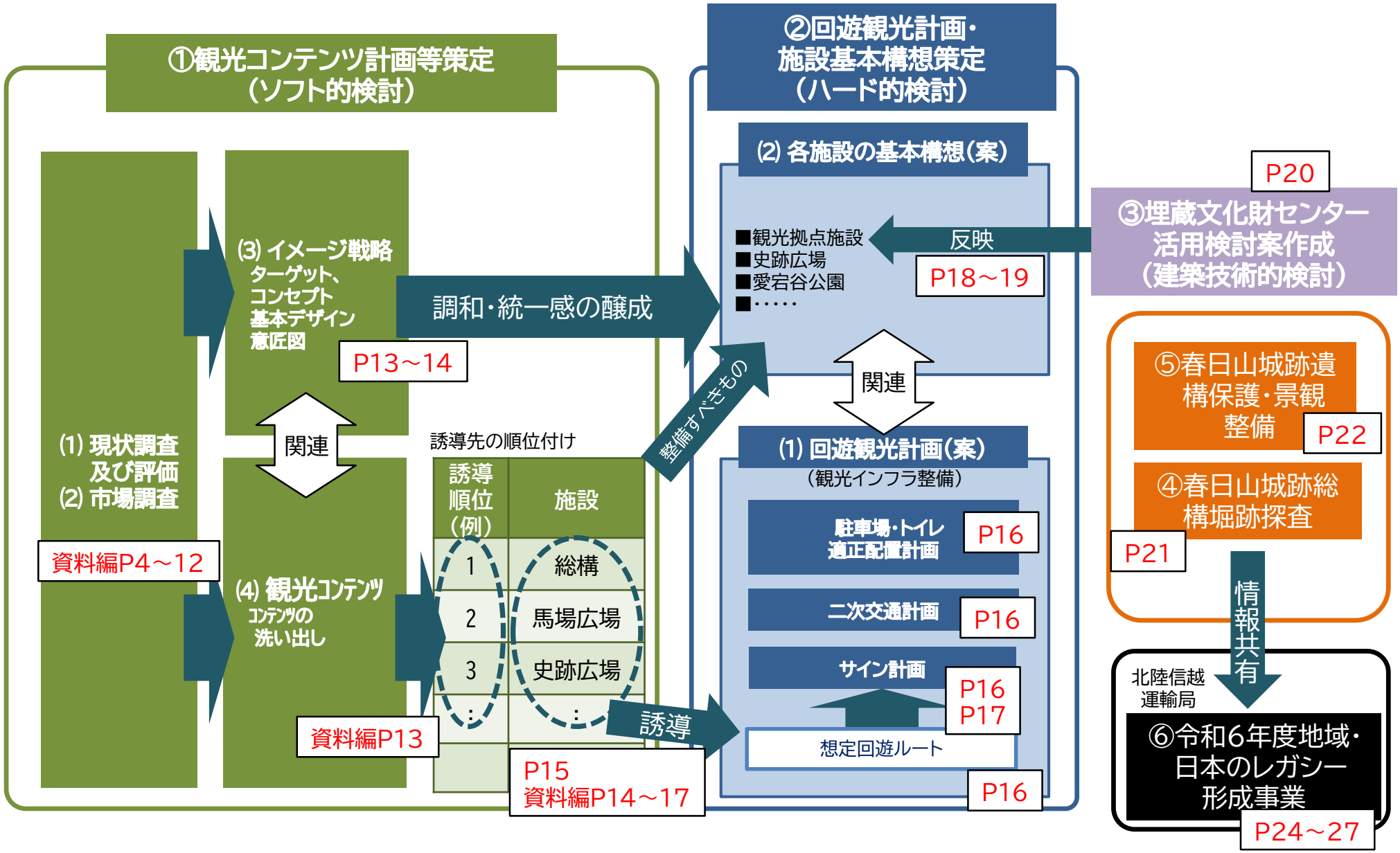
魅力向上

| 事業名 | 各事業費（千円） | 事業内容 |
|---|---|---|
| ▼春日山地域 | | |
| 観光コンテンツ計画等策定 | 10,461 | 統一された空間づくりに向けたイメージ戦略、新たなコンテンツを含めた各施設の機能分担を検討 |
| 回遊観光計画・施設基本構想策定 | 9,944 | 駐車場、二次交通、誘導サイン等の回遊に関する計画や施設整備に係る基本構想を策定 |
| 埋蔵文化財センター活用検討調査 | 495 | 埋蔵文化財センターの観光拠点施設としての活用可能性を検討するための調査 |
| 春日山城跡遺構保護・景観整備 | 17,160 | 千貫門跡及び直江屋敷跡周辺において植林されたスギ等を伐採 |
| 春日山城跡総構堀跡探査 | 3,641 | 総構の復元整備に向けた堀跡の探査 |
| ▼直江津地域 | | |
| 上越市鉄道遺産群活用基本計画策定 | 9,911 | 直江津D51レールパークの拡充（五智公園D51移設等）検討や市内鉄道遺産の活用計画を策定 |
| 直江津屋台会館等を活用した新たな観光産業創出社会実験 | 14,982 | 飲食や物販を営む人が出店し、稼げる仕組みづくりを行い、地理的利点をいかした賑わいを創出 |
| 久比岐自動車道誘導用路面標示 | 1,518 | 直江津駅から久比岐自転車道へのアクセスルートを示す矢羽根を設置 |
| ▼高田地域 | | |
| 浄興寺大門通り修景等整備基本計画策定 | 7,293 | 住民等とともに門前通りの雰囲気を感じる修景整備の計画を策定 |
| 浄興寺大門通り歓喜橋修景改修 | 2,508 | 浄興寺大門通り修景整備の検討を踏まえ、歓喜橋を修景整備 |
| 枡形門再現可能性調査研究 | 6,644 | 新たな資料の調査、整備に伴う課題の抽出や整理を行い、再現可能性について調査研究 |
| 合計 | 84,557 | |

# ２　春日山地域の取組

① 春日山地域観光コンテンツ計画等策定業務委託
② 春日山地域回遊観光計画・施設基本構想策定業務委託
③ 上越市埋蔵文化財センター活用検討案作成業務委託
④ 春日山城跡総構堀跡探査業務
⑤ 春日山城跡遺構保護・景観整備業務
⑥ 令和6年度地域・日本のレガシー形成事業

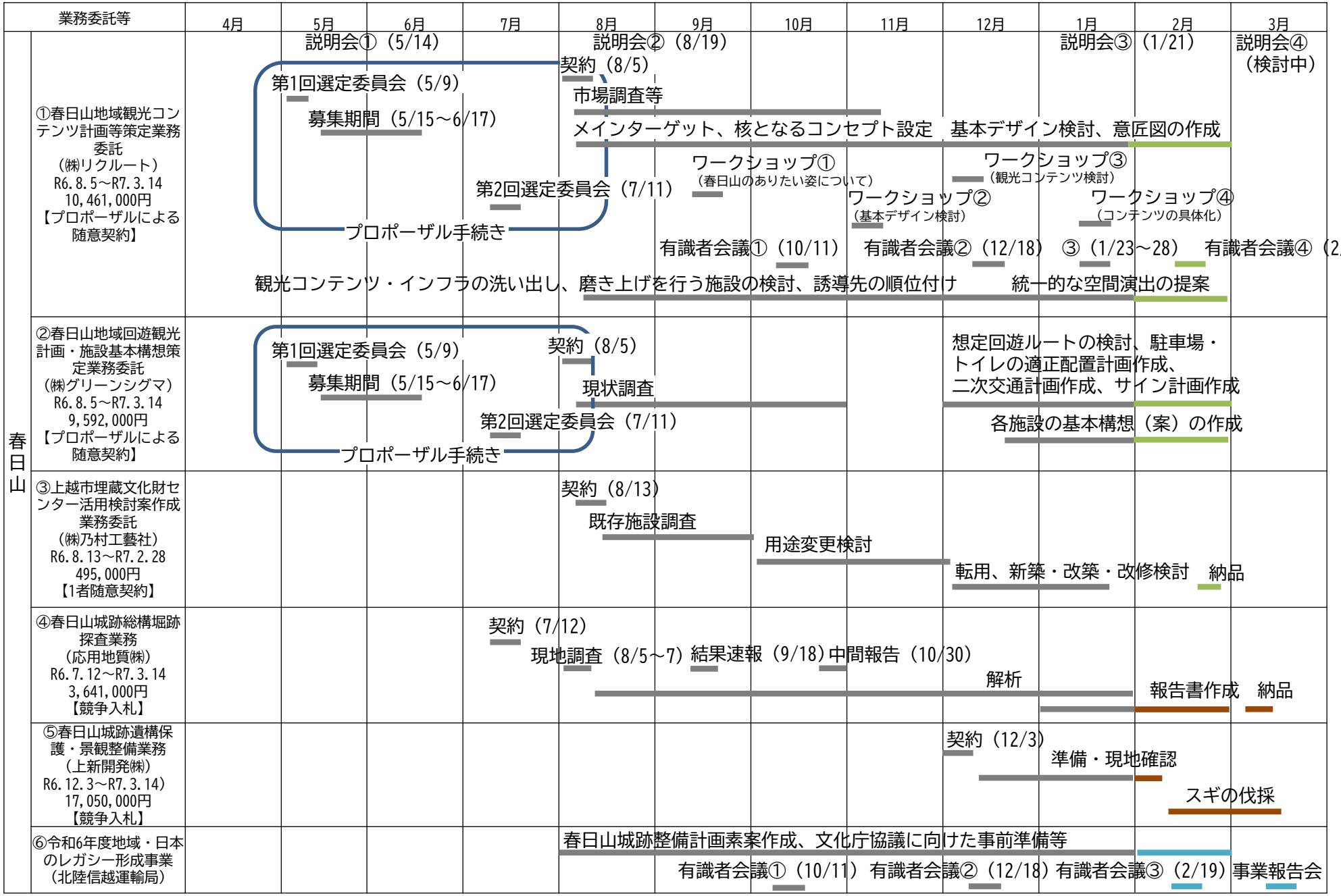
# 【春日山】令和6年度業務委託等体系図



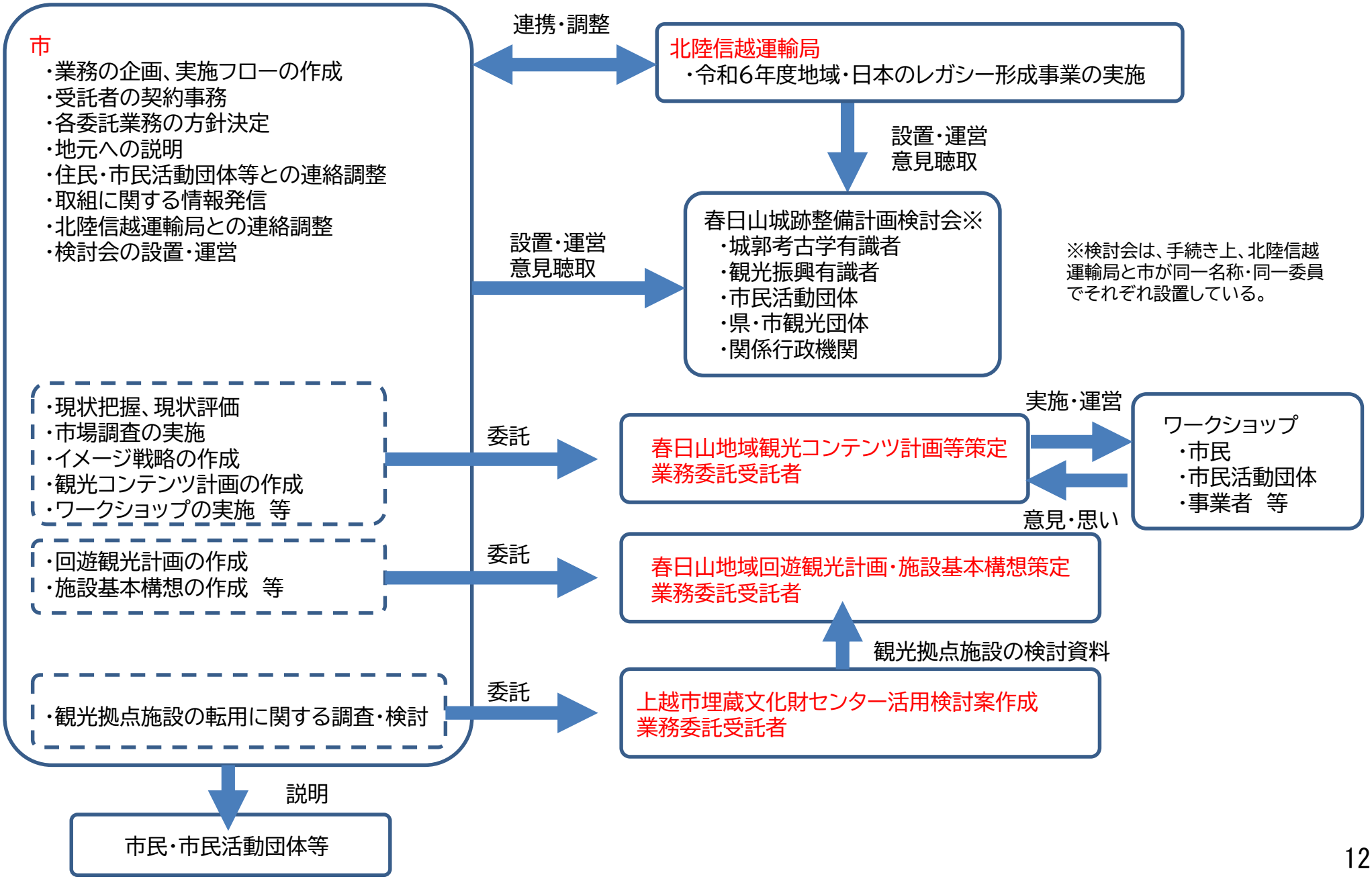
# 【春日山】令和6年度業務委託等・年間スケジュール

2月以降は予定

上越市 JOETSU CITY



# 【春日山】令和6年度業務委託等・実施体制



# ①-(3)イメージ戦略・ターゲット・コンセプト(案)



**市場調査**

・春日山地域には40・50歳代男性、新潟県、首都圏、長野県からの来訪者が多い。
・40・50歳代男性は、城や武将に関する他の観光地でも多い。
・うみがたりの来訪者は30歳代男女、新潟県、長野県からの来訪者が多い。

## メインターゲットの設定

○年齢等の属性を問わず全てをターゲットとして伸ばしていく。
○ただし、春日山地域への誘客が期待できる以下の集客層をメインとし、コンテンツを検討していく。

集客層① **新潟県、首都圏、長野県在住の40・50歳代男性**

集客層② **新潟県、長野県在住の30歳代男女(ファミリー層)**

## コンセプトの設定

ニーズ調査
市民アンケート

コンセプトの柱
歴史
自然

ワークショップ
市民アンケート

「勝負強い」「純白」

「勝負強い」で謙信公の戦績、強さを、「純白」で謙信公の精神性、清廉潔白なイメージを表現
「純白」は謙信公の頭巾、雪、米のイメージでもある。

コンテンツの洗い出し

誘導先の順位付け

基本デザイン
意匠図

上越市 JOETSU CITY

## ○ ロゴマークの候補

Type 01

Type 02

Type 03

Type 04

Type 05

Type 06

## ○ ロゴマークの活用例

ロゴマークは、市が行うサイン等の整備や情報発信などの観光施策の展開で使用し、取組の一体的なイメージづくりを行うために使用する。
また、地域のPRやお土産の販路拡大等、使用目的が一致する場合は、熊本県PRキャラクター「くまモン」のように商用利用することも想定する。

・誘導看板

・商品（イメージ）

# ①-⑷観光コンテンツの洗い出し・誘導先の順位付け（案）

○ 観光ニーズ調査の結果、全体傾向やメインターゲットのニーズを踏まえ、観光インフラ、観光コンテンツそれぞれで整備内容の洗い出しを行い、誘導先の順位付けを行った。

| 誘導順位 | カテゴリー | 資源 | 個別整備内容（例） | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 観光インフラ | 観光コンテンツ |
| 1 | 春日山観光の目玉 | 春日山城跡 | ・トイレ<br>・休憩スポット　等 | ・眺望スポットの整備<br>●●歴史を感じるトレッキングツアー　等 |
| | | 春日山神社 | ●休憩スポット<br>・公共交通整備　等 | ・文化財等の展示<br>・グッズやお土産　等 |
| | | 春日神社 | ・駐車場・駐輪場　等 | ・自然（桜、新緑、紅葉、雪等）　等 |
| 2 | 春日山観光の中心施設 | 拠点施設 | ・公共交通整備<br>・観光案内機能　等 | ・グッズやお土産<br>・食事施設（地元の食材を用いた料理、謙信公にちなんだ甘味、スイーツ、市内酒蔵で作られた日本酒等）　等 |
| | | 春日山城史跡広場・<br>春日山城跡ものがたり館 | ●休憩スポット<br>・駐車場・駐輪場　等 | ●グランピング施設<br>●謎解きゲーム |
| 3 | 周遊コース | 御前清水 | ・案内の整備 | |
| | | 毘沙門堂 | ・案内の整備 | |
| | | 林泉寺 | ・案内の整備 | ・文化財等の展示 |
| | | 愛宕谷公園 | ・案内の整備<br>●休憩スポット | ・自然・景観・眺望 |
| | | 埋蔵文化財センター | ・案内の整備 | ・文化財等の展示 |
| | | 虎御前の墓 | ・案内の整備 | |
| | | 春日謙信交流館 | ・公共交通整備<br>・観光案内機能　等 | |
| | | 遺跡（総構）の<br>整備・復元 | ・案内の整備 | |
| 4 | インフラ機能 | 春日山荘跡地 | ・トイレ<br>・駐車場・駐輪場　等 | |
| | | 春日山駅 | ・トイレ<br>●休憩スポット　等 | ●上杉謙信公の雰囲気が感じられる仕掛け |
| | | 春日山神社下駐車場 | ・トイレ<br>・駐車場・駐輪場　等 | |

●：30歳代男女　●：40・50歳代男性

# ②-(1)回遊観光計画(案)

上越市 JOETSU CITY

## 車両系回遊ルート
上越IC、上越高田IC、上越妙高駅から地域への悪影響のないルートを設定

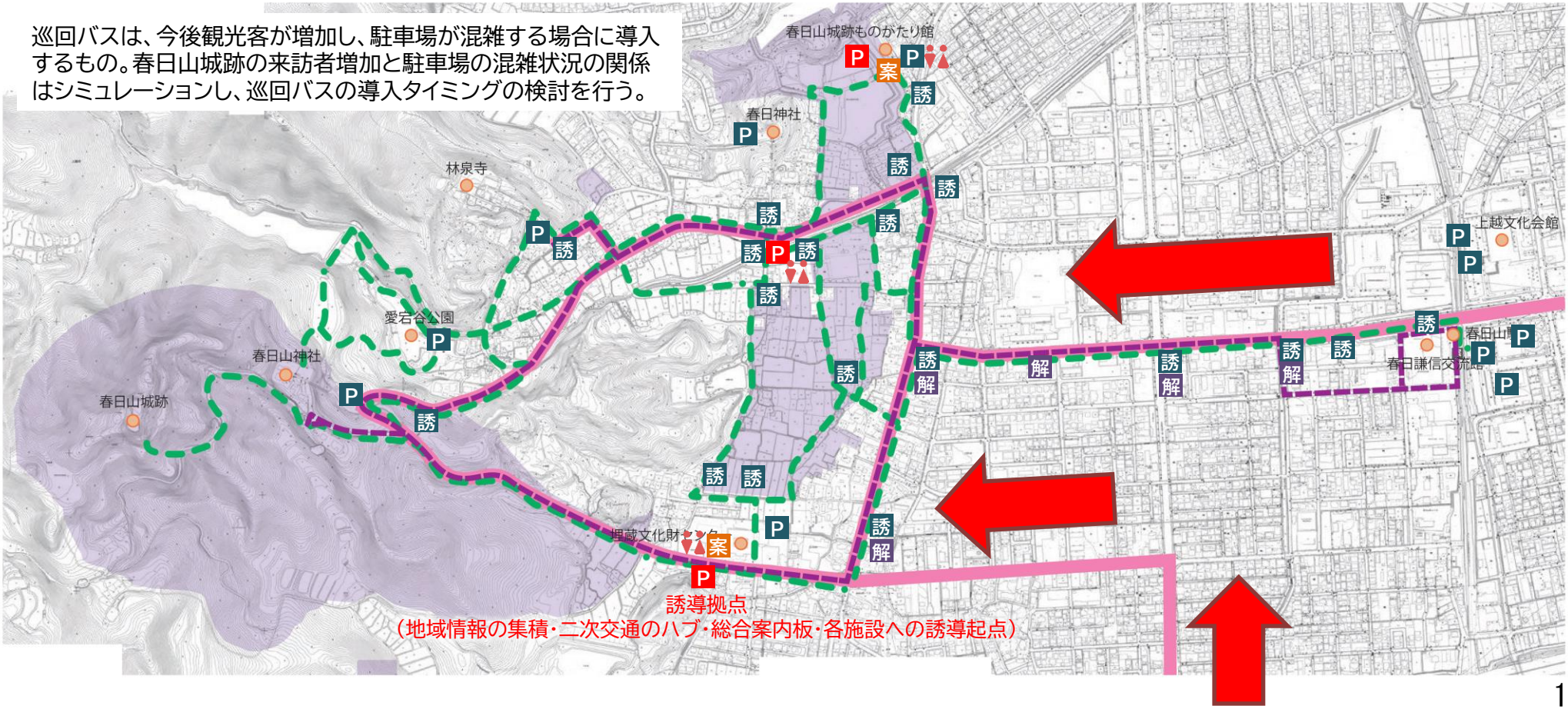
## 歩行系回遊ルート
施設の誘導先の順位付けに基づきルートを設定

## 二次交通ルート
春日山駅前を起点に、観光拠点施設、春日山城跡、林泉寺を周遊するルート
交通手段は、巡回バスと電動アシスト自転車を想定

- P 既存駐車場
- P 新規駐車場
- 新設・増設トイレ

| | | |
|---|---|---|
| 案 | 案内サイン | 春日山城跡の玄関口となる場所に設置 |
| 誘 | 誘導サイン | 分岐点に設置 |
| 解 | 解説サイン | 目的地となる場所への設置 |

巡回バスは、今後観光客が増加し、駐車場が混雑する場合に導入するもの。春日山城跡の来訪者増加と駐車場の混雑状況の関係はシミュレーションし、巡回バスの導入タイミングの検討を行う。

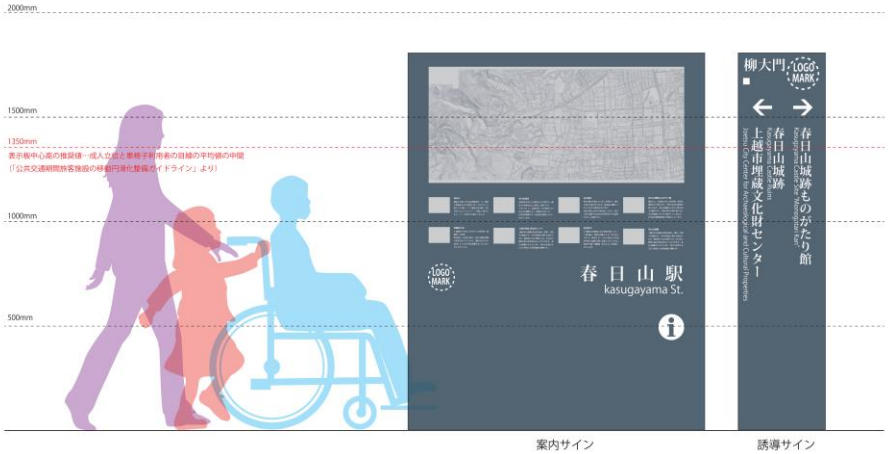


# ②-(1)回遊観光計画・サイン計画(案)

## ○ サインデザイン案

サインは、下記の方針に沿ったデザインを想定

- ✓ 市民や観光客に春日山地域のイメージを認知してもらいやすいよう統一化を図る。
- ✓ 春日山地域の自然・田園・まちなかのいずれの景観に馴染むとともに、視認性の高い本体色とする。
- ✓ メンテナンス性やコストなどとデザインのバランスを考慮したものとする。
- ✓ 場所を選ばないシンプルなものとする。




※画像のサインの色は例示。色は景観アドバイザーからの意見を参考とする。

## ○ サイン設置のイメージ

案内サイン(春日山駅)

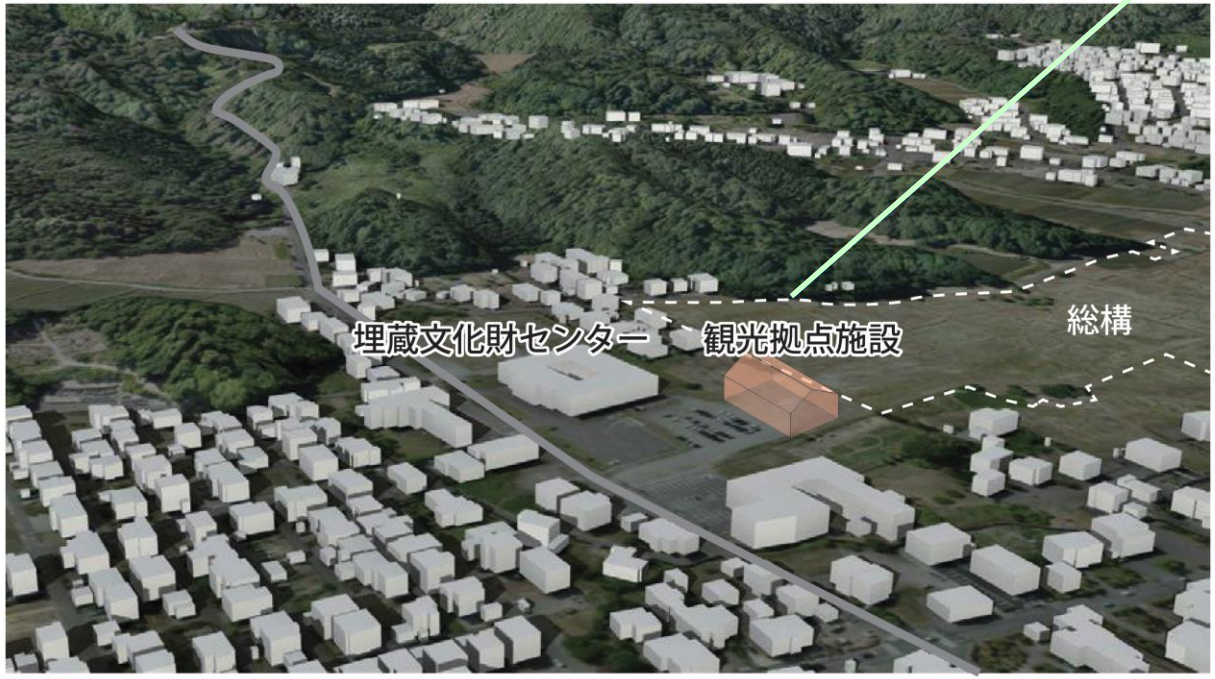
誘導サイン(春日山町交差点)

# ②-⑵各施設の基本構想(案)・観光拠点施設イメージ

上越市 JOETSU CITY

○ 観光拠点施設の位置付け

往時は春日山城下で近世に総構となった北部の景観眺望、謙信公や春日山城に関する展示・体験が楽しめる施設として整備する。




※パース図(建物の外観や内観を立体的に制作したイメージ図)は「妙高高原ビジターセンター」を参考にしたイメージ

延床面積:1,500 ㎡
主要機能:飲食/ 物販/ 観光案内/ 休憩/ 学習/ 貸室/ 謙信公・春日山城の解説展示/ 二次交通ターミナル

総構を望む飲食スペース

総構を望む休憩・物販スペース

謙信公や春日山城への理解を深める展示・体験スペース

# ②-⑵各施設の基本構想（案）・観光拠点施設の候補地比較

上越市 JOETSU CITY

○ 観光拠点施設の候補地比較

| 位置 | 埋蔵文化財センター周辺 | 春日橋周辺 | 謙信公大通りつき当り | 春日山ゲートボール場周辺 |
|---|---|---|---|---|
| 史跡指定地 | 指定地外 | 追加指定検討地域 | 一部指定地内<br>（指定地外だけでは敷地が小さい） | 指定地内 |
| 用途地域 | 第一種中高層住居専用地域 | 市街化調整区域 | 第一種中高層住居専用地域及び市街化調整区域 | 市街化調整区域 |
| 他施設との関連性 | ・埋蔵文化財センターと一体的な利用が可能<br>・馬場広場までのアクセスが良好<br>・総構に隣接し、散策しながら春日山城跡ものがたり館方面へ行くことが可能 | ・春日山神社下駐車場に最も近く、アクセスが良好<br>・林泉寺、春日神社といった施設と距離が近い。 | ・春日山城跡ものがたり館、埋蔵文化財センターのほぼ中間に位置し、どちらへ行くにも利便性が良い。<br>・馬場広場とは距離がある。<br>・林泉寺、春日神社といった施設と距離が近い。 | ・春日山城跡ものがたり館、埋蔵文化財センターのほぼ中間に位置し、どちらへ行くにも利便性が良い。<br>・馬場広場とは距離がある。<br>・林泉寺、春日神社といった施設と距離が近い。 |
| 環境・景観 | ・埋蔵文化財センターから春日山の眺望は場所によっては良好 | ・正面に春日山の眺望があるので、景観は良好 | ・正面に春日山の眺望があるので、景観は良好 | ・正面に春日山の眺望があるので、景観は良好 |
| 土地取得 | なし | あり | あり | あり |
| 事業の実現性 | ・土地取得費がかからない。<br>・埋蔵文化財センター及び総構と一体的な利用ができ、拠点施設との連携が可能<br>・馬場広場に最も近く、当該地を駐車場として二次交通の拠点となりえる。 | ・土地取得費がかかる。<br>・史跡の追加指定検討地域であるため、拠点施設を建設することは望ましくない。 | ・史跡指定地内だけでは、拠点施設に必要な敷地を確保することが難しく、一部土地取得費がかかる。<br>・謙信公大通りのつき当たりに位置しており、春日山の眺望が良好であることから、ポケットパークなどで春日山への眺望を楽しむ整備をする可能性はある。 | ・史跡指定地内であるため、拠点施設を建設することが難しく、一部土地取得費がかかる。 |

# ③上越市埋蔵文化財センター活用検討案作成業務

上越市 JOETSU CITY

○ 埋蔵文化財センターの一部又は全部を観光拠点施設として利用した場合と観光拠点施設を新築した場合を比較した。

| | | 埋蔵文化財センターの一部及び全部を観光拠点施設として活用 | | | 観光拠点施設の新築 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 改修 | 改修＋増築 | 転用 | 新築 |
| 定義 | | 観光拠点施設の機能を埋蔵文化財センターに付加する。増築なし。用途変更なし。躯体変更を行わない。 | 埋蔵文化財センターに観光拠点施設の機能を付加。機能が収まらない部分は増築で対応。躯体変更は行わない。 | 観光拠点施設として埋蔵文化財センターを使用。既存の埋蔵文化財センターとしての機能は残置なし。 | 観光拠点施設を別に整備し、埋蔵文化財センターはそのまま使用。 |
| 各機能の面積の想定（単位：㎡） | 展示 | 260 | 440 | 200 | 400 |
| | 休憩 | 70 | 100（増築部分） | 200 | 300 |
| | 飲食 | 休憩に含む | 100（増築部分） | 250 | 150 |
| | 物産 | 70 | 100（増築部分） | 450 | 125 |
| | 学習 | 100 | 100 | 100 | 200 |
| | 貸室 | 75 | 75 | 75 | 150 |
| | 収蔵 | 450 | 450 | － | － |
| | 調査 | 200 | 200 | － | － |
| | 後方 | 875 | 835 | 825 | 175 |
| 用途変更等の手続きの要否 | | ・用途変更面積、物産＋飲食200㎡未満で計画通知不要 | ・許可申請（建築基準法第48条3項ただし書き）<br>・用途変更面積200㎡以上で計画通知必要<br>・増築10㎡超で計画通知必要 | ・許可申請（建築基準法第48条3項ただし書き）<br>・用途変更計画通知必要 | ・埋蔵文化財センターの用途変更不要<br>・新築の許可申請（建築基準法第48条3項ただし書き）及び計画通知が必要。 |
| | | 計画通知不要であっても建物用途が用途地域に適合しない変更がある場合は許可申請（建築基準法第48条3項ただし書き）必要 | | | |
| 想定コスト | | RC造2階建2,100㎡改修<br>既存設備撤去更新 24.5万円/㎡<br>内外仕上補修費3万円/㎡<br>・飲食・物販店内装、厨房設備、展示外構工事は別途<br>・既存不適格是正別途（是正が望ましいが是正しなくても問題ない） | RC造2階建2,100㎡改修<br>既存設備撤去更新 24.5万円/㎡<br>内外仕上補修費3万円/㎡<br>既存不適格是正ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ入替1,000万円<br>・展示・外構工事は別途<br>【増築】<br>RC造平屋建300㎡増築<br>躯体想定費用 72.3万円/㎡<br>・飲食・物販店内装、厨房設備工事は別途 | RC造2階建2,100㎡改修<br>躯体想定費用 5万円/㎡<br>（内外仕上補修費含む）<br>既存設備撤去更新 24.5万円/㎡<br>・飲食・物販店内装、厨房設備、展示外構工事は別途 | 木造平屋建 1,500㎡<br>躯体想定費用 65万円/㎡<br>・飲食・物販店内装、厨房設備、展示外構工事は別途<br>・木造の場合1,000㎡を超える場合構造制限あり<br>・建物用途により耐火要求が発生 |
| 概算費用 | | 新築に対して約6割 | 新築に対して約8割 | 新築に対して約6割強 | － |
| 総評 | | ・コスト面では有利<br>・観光拠点施設の各必要機能面積が不十分となり期待される効果が全く得られないので採用は不適切<br>・工事に際し埋蔵文化財センター機能の縮小、一部移設、移設、閉館等の検討が必要 | ・コスト面では新築案より有利<br>・リニューアル感は出せるが老朽化した施設の再利用となるので観光拠点施設として期待される効果を発揮するのは困難<br>・増築部分と既存部分の外観上の調和が難しく、エキスパンションジョイントや雨仕舞など性能的に複雑な仕様が必要となる<br>・増築部分の機能選択は任意<br>・工事に際し埋蔵文化財センター機能の縮小、一部移設、移設、閉館等の検討が必要 | ・コスト面では安価に見えるが埋蔵文化財センターを別途確保する必要がありコストも増大するので総合的に判断すると現実的ではない<br>・埋蔵文化財センター新築費用は同規模2,100㎡として≒ 1,518,000千円（土地費用別途）<br>・リニューアル感は出せるが老朽化した施設の再利用となるので観光拠点施設として期待される効果を発揮するのは困難<br>・埋蔵文化財センターの引越し費用と手間を考慮するとさらに負担が増える | ・コストは比較的大きくなる<br>・観光拠点施設の各必要機能、面積が確保でき、十分な効果が期待できる<br>・観光拠点施設を新たに計画できるので自由度が大きく、集客効果の高い施設計画が可能<br>・新築計画に関しコストコントロールがしやすい<br>・埋蔵文化財センターの引越し費用と手間を削減できるのは大きなアドバンテージ<br>・埋蔵文化財センターを使い続けた場合、別途大規模修繕が必要となる（※） |
| 推奨 | | × | △ | × | ◎ |

※埋蔵文化財センター大規模修繕にかかるコスト
RC造2階建2,100㎡改修
既存設備撤去更新 24.5万円/㎡
内外仕上補修費3万円/㎡　　合計577,500千円

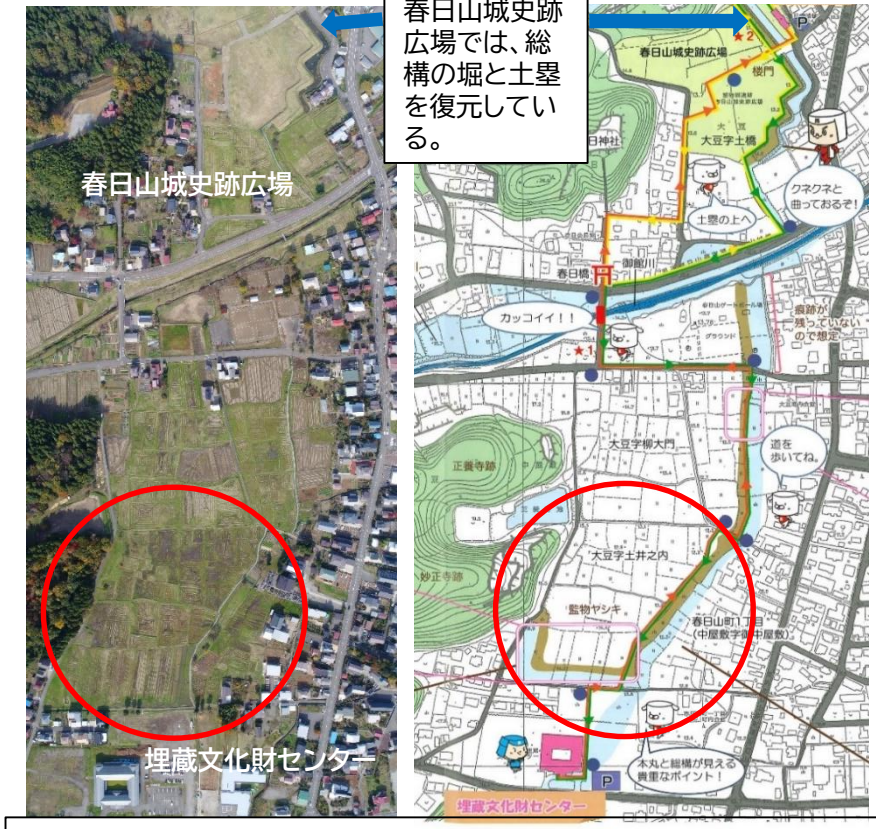
# ④春日山城跡総構堀跡探査業務

上越市 JOETSU CITY

○ 探査の位置付け
・通年観光計画の「総構」復元整備に必要なデータを得るため
・総構の復元には、事前に発掘調査を行い、その成果をもとに整備計画を立てる必要がある。
・堀跡などの地中探査を事前に行った上で、発掘調査計画を立てることにより、発掘箇所を最小限として史跡保護を図りながら、効率よく発掘を行うことが可能となる(非破壊で地中の様子を調べることが出来る)。

○ スケジュール
現地調査:8月、解析・報告書作成を経て完了:3月

○ 実施場所




総構とは‥
春日山城の東裾野に築かれた、堀と土塁からなる城の外側の構えのことを言う。現在の埋蔵文化財センターから春日山城史跡広場までの約1.2kmにわたり、築かれたとされる。

○ 探査方法

総構の堀跡と土塁跡想定箇所‥・表面波探査・地中レーダ探査
総構に囲まれた、平坦面‥・地中レーダ探査

【表面波探査】
地表面に人工的にカケヤで振動を与え、地盤の地表面付近を伝わる揺れ(地震波の一種、表面波)を起こし、その伝わり方を観測して、地中の遺構の有無を推定する。

調査風景

【地中レーダ探査】
地表面に置いたアンテナから地中へ向けて電磁波を放射し、反射してきた電磁波を観測して、地中の遺構の有無や、埋設物の存在の有無を推定する。

調査風景

# ⑤春日山城跡遺構保護・景観整備業務

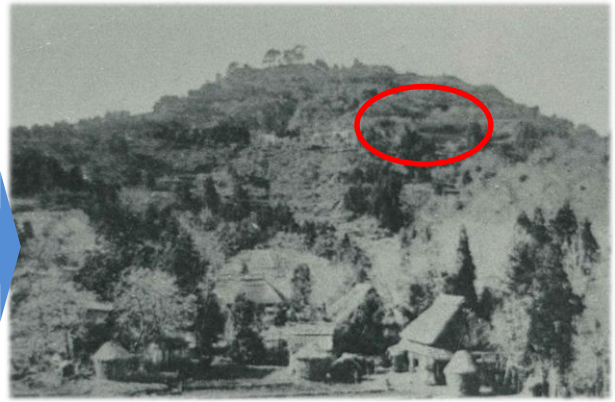
上越市 JOETSU CITY

1　目指す姿　　春日山城跡を保存し、後世への継承を図る。
2　目　　標　　『国指定史跡春日山城跡保存管理計画書』（平成21年3月）の具現化
3　実施内容
　①　千貫門跡周辺（平坦面）において、スギの伐採を行い、遺構保護と顕在化を図る。
　②　直江屋敷跡北側（斜面）において、スギの間伐を行い、遺構の保護と眺望の確保を図る（一部民有地を含む）。
4　スケジュール　現地作業：2月以降（予定）

期待できる効果　重要遺構である千貫門跡及び直江屋敷跡の保護
　　春日山城跡の本質的価値（土木工事の粋）の顕在化による魅力の磨き上げ

位置図

スギ伐採等を行い、遺構保護を図るとともに、
春日山城跡の本質的価値の顕在化を図る。



中長期的な整備の目標、約100年前（大正時代）に
撮影された写真のような姿へ

①の現状

②の現状

# ワークショップの概要

上越市 JOETSU CITY

○ 開催概要

| 実施内容 | 日時 | 内容 | 会場 |
|---|---|---|---|
| 第1回 | 令和6年9月13日(金)<br>17:30～20:30 | 春日山地域のありたい姿を描く | 上越市役所木田第一庁舎<br>401会議室 |
| 第2回 | 令和6年11月8日(金)<br>17:30～20:30 | 春日山地域へのターゲットの設定 | 上越文化会館大会議室 |
| 第3回 | 令和6年12月6日(金)<br>17:30～20:30 | 観光客に楽しんでもらうためのコンテンツの検討 | 上越文化会館大会議室 |
| 第4回 | 令和7年1月17日(金)<br>13:00～16:00 | 第3回で検討したコンテンツの具体化 | 埋蔵文化財センター学習室 |

○ ワークショップの様子(第1回)

# ⑥令和6年度地域・日本のレガシー形成事業・事業概要



**令和6年度地域・日本のレガシー形成事業**

**戦国最強の武将「上杉謙信公」の魂が眠る戦国最強の山城「春日山城」の復元可能性調査**　事業費：10,500千円

国土交通省
北陸信越運輸局

## 事業目的

全国屈指の規模を誇る春日山城の山容を復元することで、その貴重な歴史的価値の「保存」と、旅行者に感動を与える「活用」を共に推進し、本事業において春日山城跡整備計画の検討、有識者からの意見聴取及び地元関係者等との合意形成を図ることにより、旅行者満足度の高い観光施策プランの作成に繋げる。

## 取組内容

### （1）春日山城跡整備計画素案の作成

・史跡の保護及び来訪者の安全確保のため、法面保護、排水計画、遊歩道再整備、サイン設置等の検討
・史跡の観光活用のための便益施設等ハード整備に加え、コンテンツ等ソフト事業の検討

上記について有識者を含む春日山城跡整備計画検討会において検討を行う。

### （2）文化庁協議に向けた事前準備等

・文化財保護法第125条で定める現状変更等の制限の該当性等について、文化財関係部署への事前相談
・必要となる連絡・調整・資料の作成等事務補助

### （3）春日山城跡整備計画検討会

・令和6年10月、12月、令和7年2月の3回を予定
・構成員は有識者、新潟県、関係団体（県観光協会、地元市民団体等）
オブザーバー：観光庁
・有識者
跡見学園女子大学　篠原准教授
名古屋市立大学　千田教授

### （4）事業報告会の開催

・令和5年度と同様に、上越市事業との合同報告会を想定
・参加者は春日区町内会長連絡協議会及び地元観光関係者等を想定。

## 上越市事業との連携

**地域・日本のレガシー形成事業**

・史跡エリア内の整備計画

コンテンツ計画との整合性を図る。
（コンセプト、世界観等）

回遊計画との整合性を図る。
（サインの統一等）

**上越市事業「春日山地域観光コンテンツ計画策定業務」**

・市場調査、コンテンツ計画作成、イメージ戦略の作成

**上越市事業「春日山地域回遊観光計画・施設基本構想策定業務」**

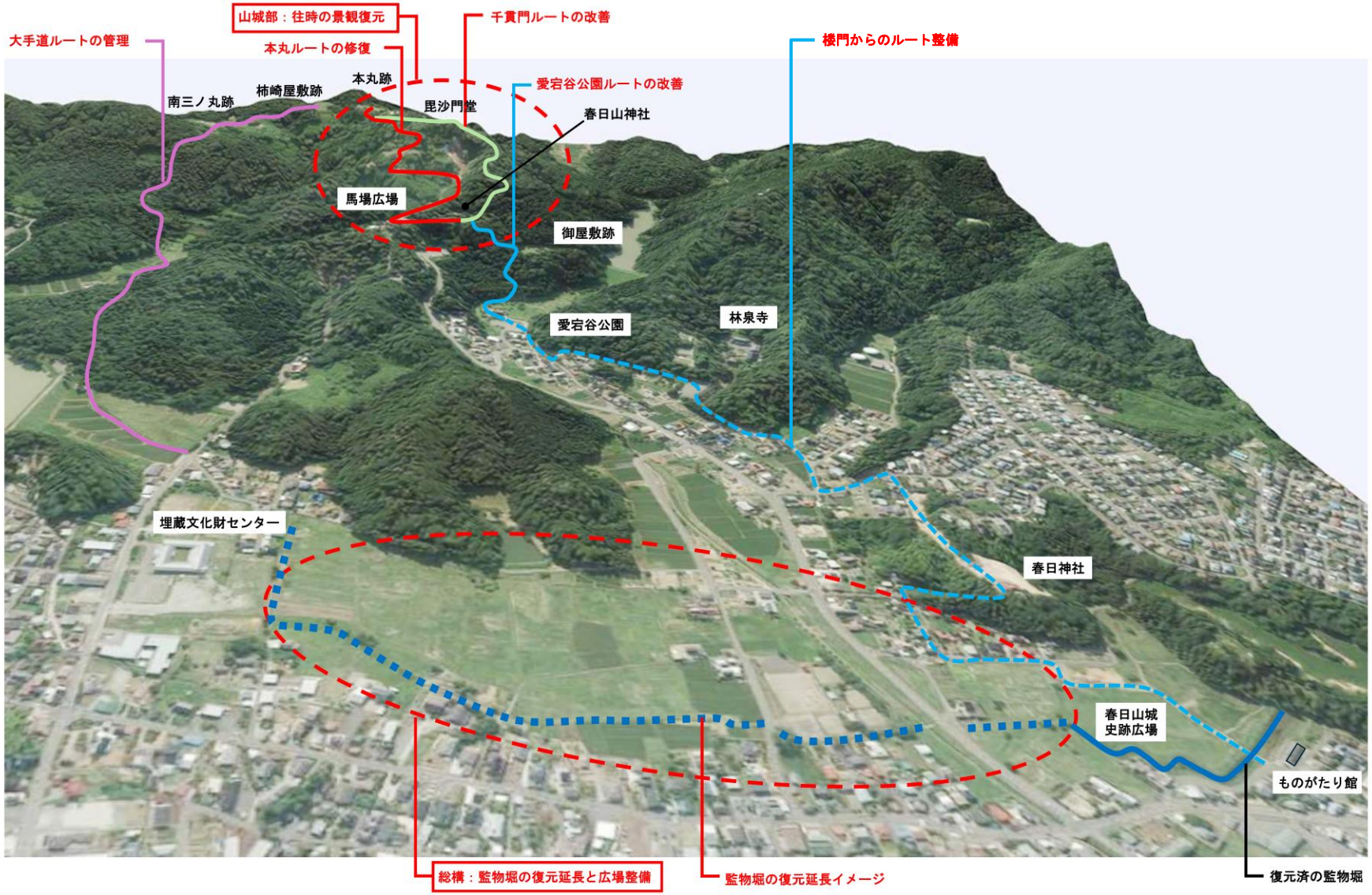
・史跡エリア外（街中）の回遊計画の作成（回遊ルート、便益施設、二次交通、誘導サイン）

# ⑥令和6年度地域・日本のレガシー形成事業・検討状況(1)



上越市 JOETSU CITY

○ 令和6年度地域・日本のレガシー形成事業では、山城内のルートについての修復、改善、景観復元、ビューポイント整備、法面保護、排水計画等についての検討を行っている。

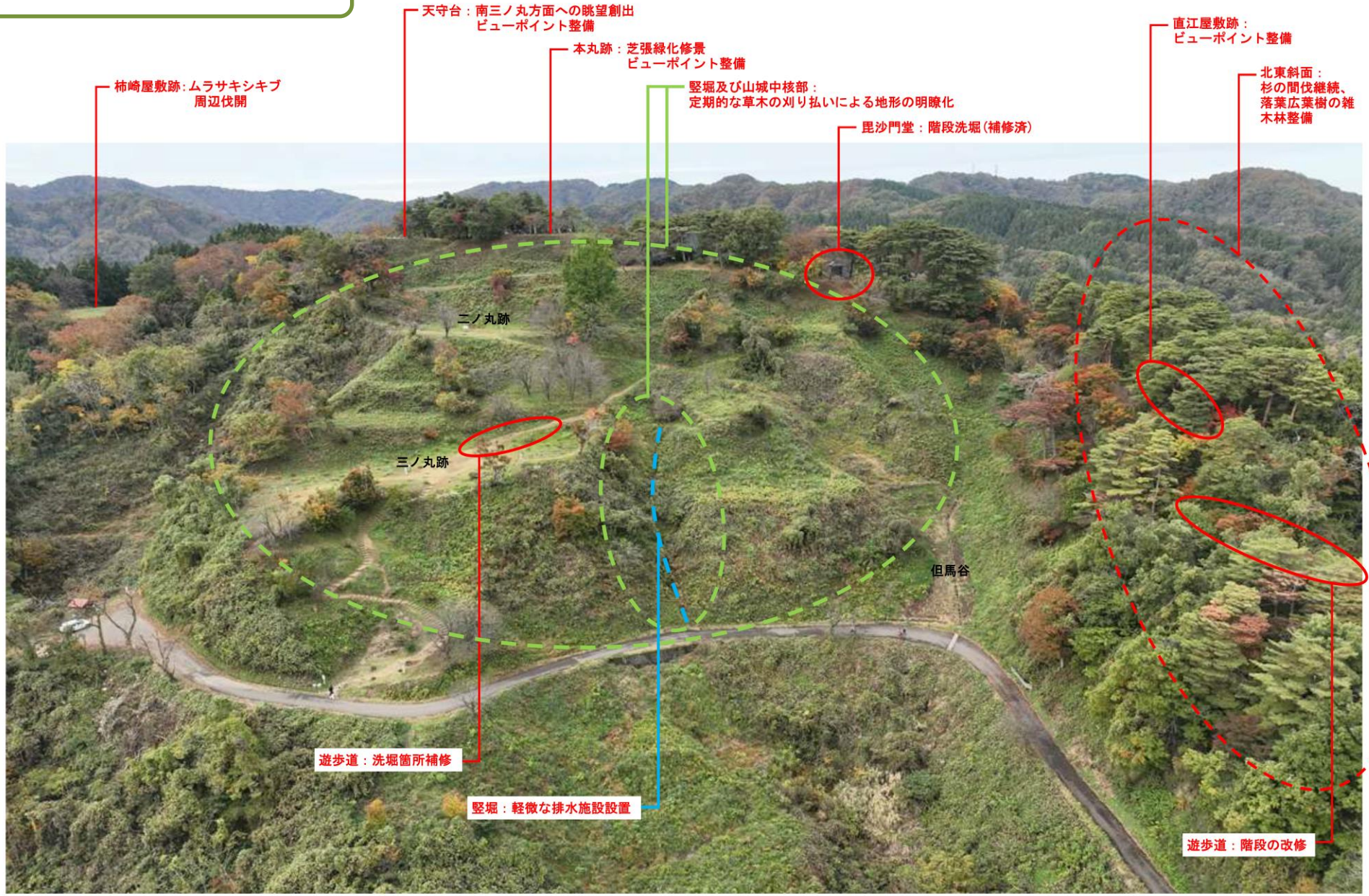


# ⑥令和6年度地域・日本のレガシー形成事業・検討状況(2)



上越市 JOETSU CITY

○ 景観整備の検討状況

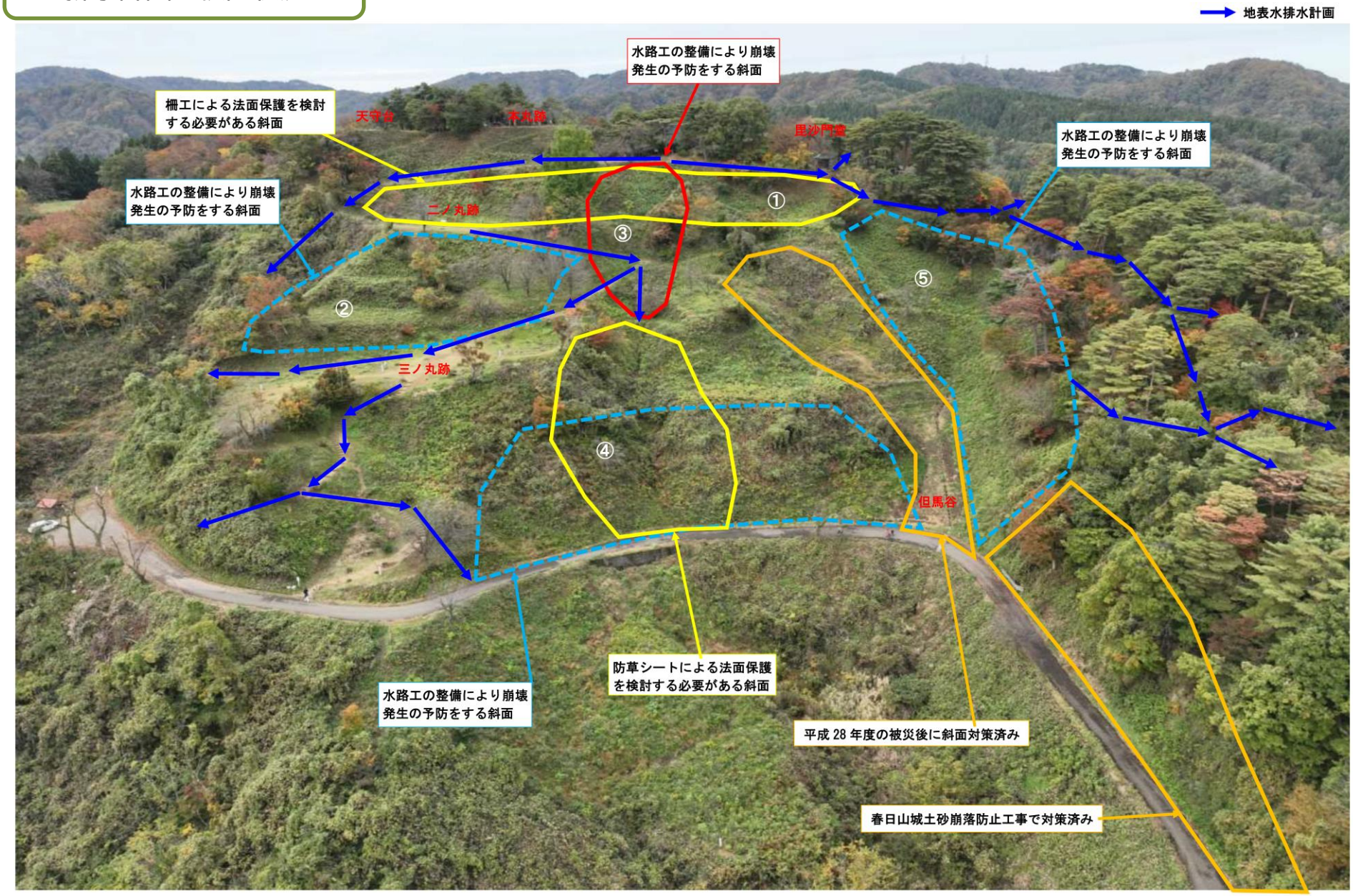


# ⑥令和6年度地域・日本のレガシー形成事業・検討状況(3)



上越市 JOETSU CITY

○ 排水計画の検討状況



# ３　直江津地域の取組

① 上越市鉄道遺産群活用基本計画策定業務委託
② 直江津屋台会館等を活用した
新たな観光産業創出社会実験業務委託

# ①上越市鉄道遺産群活用基本計画策定業務委託・事業内容イメージ

上越市 JOETSU CITY

## 目的

市内に点在する鉄道に関する魅力的な資産を鉄道遺産として認定し、保全・継承を目指すとともに観光素材として活用を図る。

**(1) 上越市鉄道遺産群の現状調査及び評価**
ア 現状把握
イ 課題抽出
ウ 価値の評価

P32～33
資料編P20～22

**(2) ニーズ調査・事例検討**
ア 鉄道遺産群活用策検討のためのニーズ調査
イ 直江津D51レールパークの魅力・集客向上のためのニーズ調査及び参考事例の検討

資料編P23～24

**(3)上越市鉄道遺産群活用検討委員会の開催**
ア 関連企業、関係団体、有識者等の意見集約（全5回）

P34

**(4) 上越市鉄道遺産群活用基本計画の策定**
ア 上越市鉄道遺産群のコンセプト
イ 独自認定制度
ウ 上越市鉄道遺産群活用策

検討中

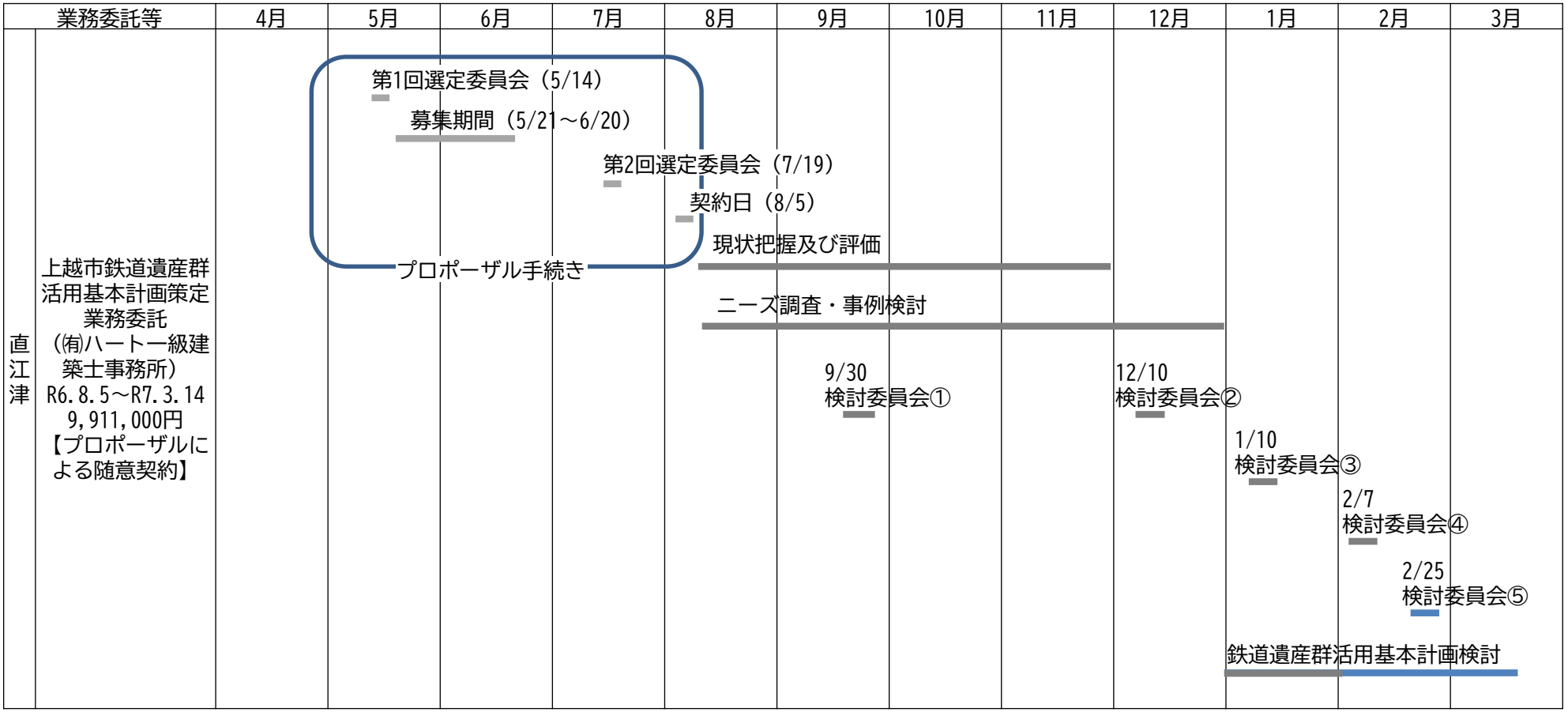
**(4)-エ 直江津D51レールパーク拡充整備（鉄道博物館）可能性調査検討**

（ア） 鉄道博物館のコンセプト
（イ） 集客機能・歴史展示物検討(扇形庫、五智公園のD51形蒸気機関車の移設活用を含めること)
（ウ） イメージパース
（エ） ゾーニング
（オ） 平面図
（カ） 整備スケジュール
（キ） 概算工事費の算出
（ク） 拡充整備後の管理運営計画
　① 運営方法
　② 組織体制
　③ 収支シミュレーション
（ケ） 鉄道博物館整備による効果

# ①上越市鉄道遺産群活用基本計画策定業務委託・年間スケジュール

上越市 JOETSU CITY

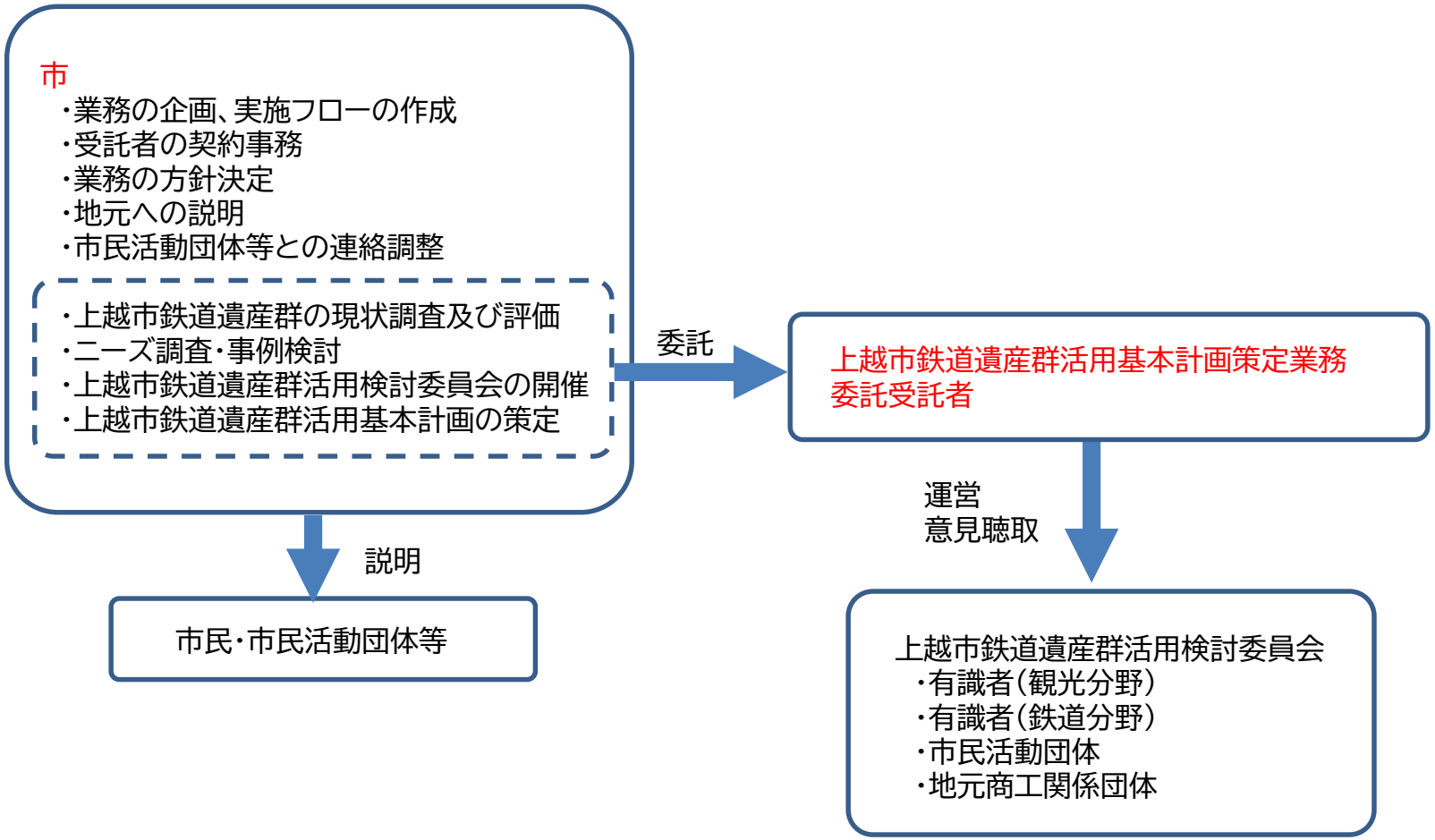
## ○　年間スケジュール（2月以降は予定）



# ①上越市鉄道遺産群活用基本計画策定業務委託・実施体制

上越市
JOETSU CITY

○　実施体制



## 上越市鉄道遺産のストーリー

検討委員会の議論の結果から、現状把握及び評価は、日本遺産の事業設計を参考に、「ストーリー」を打ち出し、その「ストーリー」に合致する資産を上越市鉄道遺産群として位置づけ、保存・継承していくこととして整理した。

# 米と石油を運び出せ！
# ～本州横断鉄道が始まった鉄道のまち　上越～

明治19年8月15日、
本州横断鉄道の日本海側の起点として、
直江津駅から一番列車が出発した。
そこには、新潟平野や頸城平野の米、頸城油田の石油を
東京へ送り届けたいと、強く願った人たちがいた。
国に頼らず、自らの力で軽便鉄道を敷設した人たちがいた。
雪と戦いながら列車を動かし続けた人たちがいた。
今は新幹線が停車する上越市。
ここには、近代日本の発展を支えてきた鉄道の歴史が凝縮されている。

# ①-(1)上越市鉄道遺産群の現状調査及び評価



| 所在地 | 鉄道遺産 | 現状 | 課題(保全) | 課題(観光活用) | 評価<br>(ストーリーとの整合性) |
|---|---|---|---|---|---|
| 直江津D51レールパーク | 扇形機関庫 | • 観光施設として活用(入場制限あり) | • 耐震基準を満たしていない<br>• 耐震補強を行うための費用の確保 | • 営業期間が限定されている。<br>• 体験型のコンテンツが少ない。 | • 明治時代開業の本州横断鉄道の起点であった直江津の象徴的施設 |
| | 転車台 | • 観光施設として活用 | | | |
| 五智交通公園 | D51型蒸気機関車 | • 静態保存展示 | • 保全(金属腐食など外観の劣化防止)のための費用の確保 | • 鉄道遺産としての認知 | • D51は国鉄の蒸気機関車の象徴 |
| | 双頭レール | • 保存展示 | | • 鉄道遺産としての認知 | • 明治時代に直江津港から鉄道用資材が搬入されたことの傍証 |
| くびき野レールパーク | 2号機関車(コッペル) | • 静態保存<br>• 登録有形文化財 | • 整備の担い手確保<br>• 動態車両の管理・運転技術の継承<br>• 保全(車両の金属腐食や塗装など外観の劣化防止、動態保存に必要な機能の整備)のための費用の確保 | • 公共交通機関でのアクセスが困難<br>• 一般公開日が限定的<br>• 新規来場者の伸び悩み | • 頸城鉄道の往時の姿を今に伝える遺産 |
| | ディーゼル機関車など車両7両 | • 一部を除き動態保存<br>• 一般公開日に体験乗車実施 | | | |
| | 旧頸城鉄道本社 | • 軽便鉄道資料館として活用<br>• 登録有形文化財 | | | |
| | 旧頸城鉄道機関庫 | • 展示車両の車庫として活用<br>• 登録有形文化財 | | | |
| 二本木駅 | 駅舎他 | • 地域住民が観光施設として活用<br>• 登録有形文化財 | • 建物の保全のための費用の確保 | • 鉄道ファン以外の来場 | • 雪との戦い |
| 高田駅 | ホーム上屋支柱 | • 歴史を伝える説明板を設置 | | • 鉄道遺産としての認知 | • 本州横断鉄道として開業した信越本線の遺産 |
| 有間川駅 | 駅舎 | • 地域住民がカフェとして活用 | • 建物の保全のための費用の確保 | • 鉄道遺産としての認知 | • 鉄道の存在感が大きかった時期の地域住民とのつながりの一例 |
| 久比岐自転車道 | トンネル跡<br>橋脚跡 | • サイクリングロードとして活用<br>• 鉄道遺産としての活用はない | | • 鉄道遺産としての認知 | • 鉄道黄金期の設備増強 |

# ①-⑶上越市鉄道遺産群活用検討委員会の開催

上越市 JOETSU CITY

＜ 検討会 ＞　第1回　9/30

**第２回　12/10**

【議論テーマ】
- 計画書構成案
- 現状・課題
- ありたい姿
- 鉄道の歴史
- 鉄道遺産群のストーリー

**第３回　1/10**

【議論テーマ】
- 鉄道遺産群のストーリー
- ストーリーに合致する遺産のリストアップ
- その遺産の現状・課題

**第４回　2/7**

【議論テーマ】
- 独自認定制度
- 観光活用策
- 直江津レールパーク拡充

**第５回　2/25（予定）**

【議論テーマ】
- 独自認定制度
- 観光活用策
- 直江津レールパーク拡充
- 計画書

＜ 計画書構成案 ＞

現状・課題

ありたい姿

鉄道の歴史

上越市鉄道遺産のストーリー

ストーリーに合致する遺産のリストアップ

鉄道遺産の現状・課題

観光活用の課題

**守るための手段（文化財として）**
- 独自認定制度
→保全のための支援
→活用にかかる支援

**活用するための手段（観光として）**
- 観光活用策
- 直江津レールパーク拡充

＜ 調査関係 ＞

**ニーズ調査**

一般と鉄道愛好家のニーズ調査結果を基に観光活用策、直江津レールパーク拡充コンテンツを検討

# ②直江津屋台会館等を活用した新たな観光産業創出社会実験業務委託・事業内容イメージ

上越市 JOETSU CITY

## 目的

・うみがたりに隣接する直江津屋台会館と海浜公園の地理的利点をいかした新たな賑わいや、観光産業を創出するための収益化のスキーム構築、直江津地域の一体的なエリアマネジメントを担う持続可能なまちづくり組織の立ち上げを目指す。

## 社会実験スキーム

P38
資料編P25～27

### 賑わいの創出

（1）イベントの開催及び飲食・物販等の出店による賑わい創出

ア　主催イベントの開催
　※来場者500人以上の集客を見込む
　※6回実施（追加開催による成果報酬あり）
イ　イベントの誘致（成果報酬）
ウ　飲食・物販等の出店（月1日以上5店舗以上の出店がある状態を創出）
エ　実施に関する周知広報

（2）新たな収益事業　検討中

・(1)以外の収入を見込む独自事業を提案し、実施すること

（3）簡易出店システムの提案　資料編P28

①出店できる場所、期間が視覚的に確認できる
②出店申込、出店料等の支払いがオンラインで完結

施設管理者

一括申請　許可

市

公募

委託契約締結

■歳入

雑入　出店者負担金

雑入　広告料

■委託料

請求

支払い

受託事業者

屋台会館

海浜公園

募集・誘致

指導・監督

出店契約締結

■収入

出店者負担金

広告料

各事業者
（飲食店等出店・イベント開催）

出店者　出店者　…

イベント関係者　…

民間企業

企業広告（チラシ、ホームページ等）

（5）直江津屋台会館の魅力向上　資料編P29

■ 魅力創造課の役割
・施設管理者との連絡調整
・受託事業者への指導・助言
・事業ＰＲ、広報の協力

（4）地域住民への配慮等・地域団体との連携　P39

（6）調査・検証　資料編P30～31

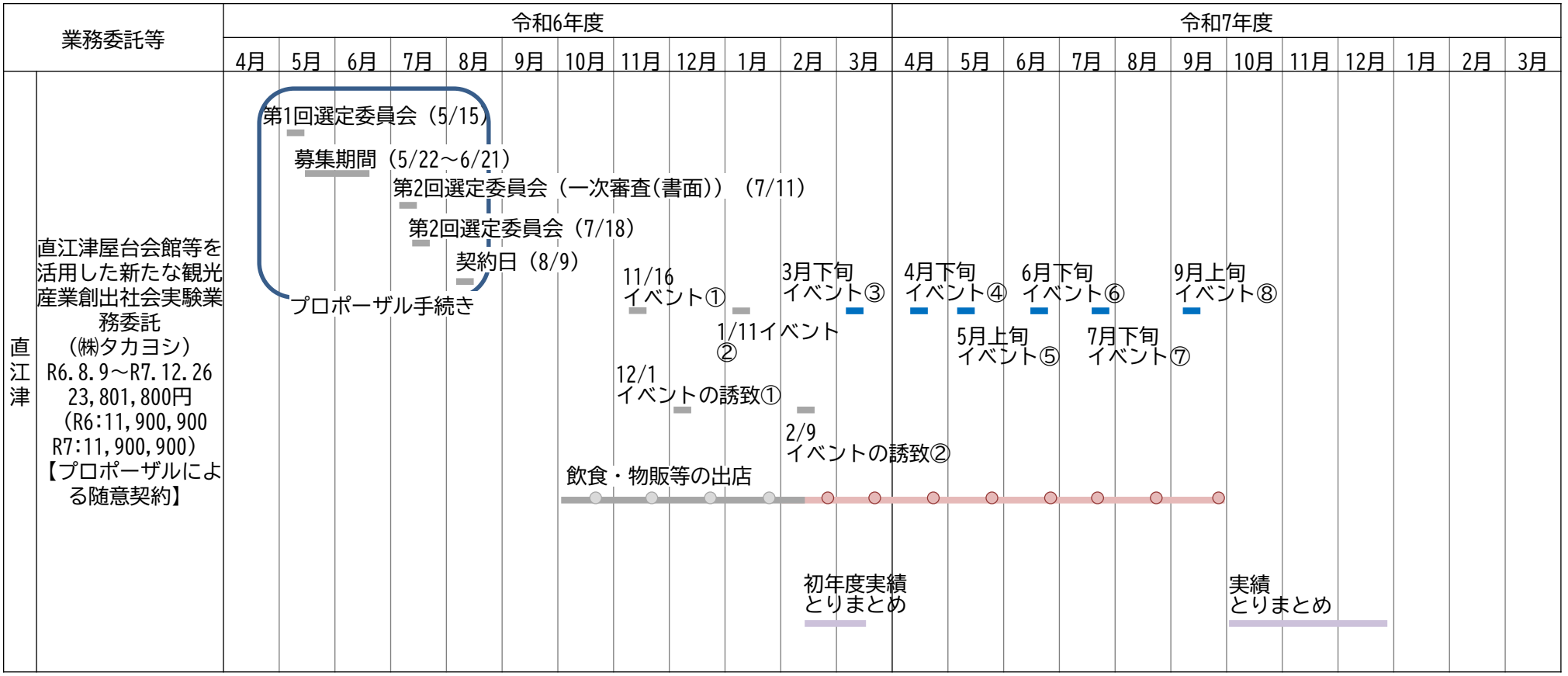
ア　アンケート調査
イ　イベント等の結果検証

（7）生業として継続できる事業スキームの検証　検討中

ア　環境整備の提案・検証
イ　事業スキームの提案

（8）持続可能な仕組みづくり　検討中

## ○　年間スケジュール（令和7年2月以降は予定）




※地元への説明経過は別途説明

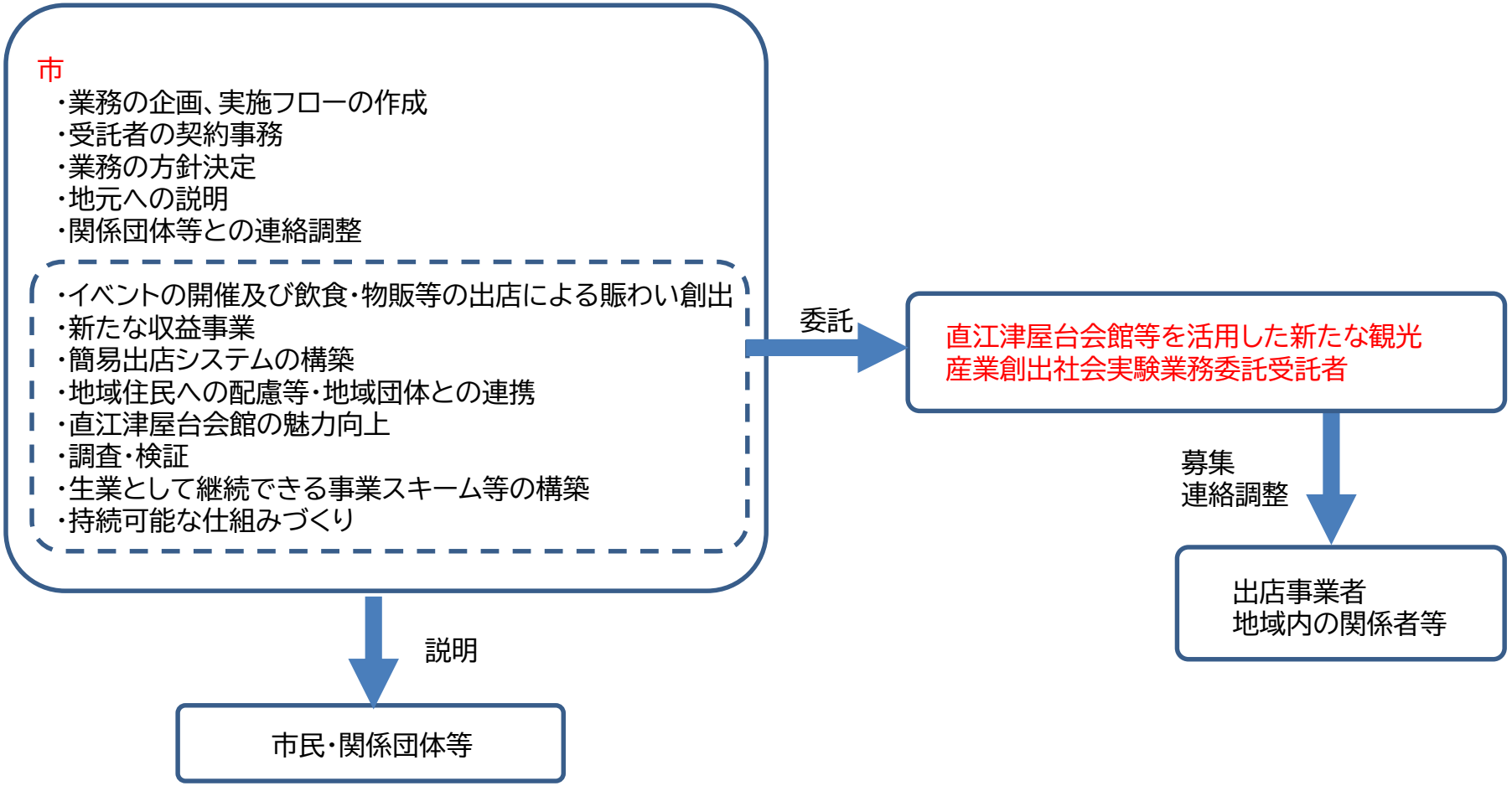
・・・ 主催イベントの開催

・・・ イベントの誘致

・・・ 飲食・物販等の出店

・・・ とりまとめ

○　実施体制


市
・業務の企画、実施フローの作成
・受託者の契約事務
・業務の方針決定
・地元への説明
・関係団体等との連絡調整
・イベントの開催及び飲食・物販等の出店による賑わい創出
・新たな収益事業
・簡易出店システムの構築
・地域住民への配慮等・地域団体との連携
・直江津屋台会館の魅力向上
・調査・検証
・生業として継続できる事業スキーム等の構築
・持続可能な仕組みづくり
委託
直江津屋台会館等を活用した新たな観光産業創出社会実験業務委託受託者
募集
連絡調整
出店事業者
地域内の関係者等
説明
市民・関係団体等

# ②-(1)イベントの開催及び飲食・物販等の出店による賑わい創出

資料編P25~P27

上越市 JOETSU CITY

実施済み　予定

10月　11月　12月　1月　2月　3月　4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月

## ア 主催イベント

うみの屋台まつり
11月16日（土）2,768人来場
テーマ:海、海鮮、体験
主な周知方法
TVCM / Instagram / WEBサイト / 専用チラシ / LINE 市公式 / X 市公式

なおえつホットほっとパーク
1月11日（土）441人来場
テーマ:ホット、あたたかい
主な周知方法
Instagram / WEBサイト / 専用チラシ / LINE 市公式 / X 市公式

3月下旬 イベント③
4月下旬 イベント④
5月上旬 イベント⑤
6月下旬 イベント⑥
7月下旬 イベント⑦
9月上旬 イベント⑧

## イ 誘致イベント

夢叶フェス
12月1日（日）222人来場
テーマ:リラクゼーション、美容、ワークショップ

2月9日（日）
イベントの誘致②

### エ 実施に関する周知広報

WEBサイト / TVCM / Instagram / YouTube / LINE 市公式 / X 市公式 / 専用チラシ / 折込広告 / その他

※効果的な広報媒体について、引き続き検証を行う。

## ウ 飲食・物販等の出店

10月27日(日)
出店数:4店舗
来場者:238人

11月24日(日)
出店数:2店舗
来場者:75人

12月22日(日)
出店数:5店舗
来場者:112人

1月26日(日)
出店数:9店舗
来場者:181人

10月13日(日)
出店数:1店舗
来場者:144人

1月18日(土)
出店数:2店舗
来場者:20人

・屋台会館・海浜公園において平日・休日を問わず出店可能なブースを運営し、募集を行う。
・毎月末はテーマを設定した飲食・物販等の出店募集を行うことで、来場者や出店者の定着を図る。

上越市 JOETSU CITY

## ○　地域への説明状況（抜粋）

令和7年1月15日時点

| 市、市＋受託者による市内事業者との協議 | 受託者による市内事業者との連携に関する協議 |
|---|---|
| 8月20日　直江津区地域協議会<br><br>9月 6日　直江津商店連合会会長と事業者説明の協議<br>9月19日　直江津商店連合会会長と事業者説明の協議<br><br>10月 1日　出店者募集について報道機関へ情報提供<br>10月 2日　直江津地域の関連事業者組合の役員等と協議<br>10月 4日　観光コンベンション協会と施設利用について協議<br>10月 7日　直江津地域の事業者説明会<br>10月12日　直江津区の町内会長へのチラシ配布<br>10月24日　直江津商店連合会会長と商店街への出店案内の協議<br>10月25日　第1回イベントについて報道機関へ情報提供<br><br>11月 1日　直江津商店連合会会長会議へ出店の案内<br>11月 7日　直江津商店街役員への事業説明、周知依頼<br>11月11日　直江津商店街役員への事業説明、周知依頼<br>11月13日　うみがたりと打合せ<br>11月14日　直江津商店街役員への事業説明、周知依頼<br>11月25日　直江津商店街個店への事業説明、周知依頼<br>11月28日　直江津地域の飲食事業者への事業説明<br><br>12月12日　既存イベントの実施事業者と協議<br>12月20日　北地区町内会長連絡協議会での事業説明<br>12月26日　直江津地域の大手小売事業者と打合せ<br>12月26日　うみがたりと打合せ<br><br>今後、イベント関係者や地域との意見交換を予定 | 9月17日　市内漁協組合と協議<br>9月19日　市内小売問屋と協議<br>9月24日　直江津地域の商店街役員と協議<br><br>10月 1日　市内小売事業者と協議開始<br>10月 3日　直江津地域の食品製造系組合と協議<br>10月 4日　直江津地域の大手小売事業者と協議開始<br>10月 7日　直江津地域の小売事業者と協議<br>10月15日　既存イベントの実施事業者と協議<br>10月16日　直江津地域の企画・デザイン事業者と協議<br>10月22日　直江津地域の飲食事業者と協議<br>10月22日　直江津地域小売事業者と協議<br>10月24日　直江津商店連合会と協議<br>10月30日　直江津商店街役員と協議<br>10月30日　直江津地域の飲食事業者と協議<br><br>11月14日　上越観光コンベンション協会と協議<br>11月20日　直江津商店連合会と協議<br>11月28日　既存イベントの実施事業者と協議<br><br>12月 6日　直江津地域の釣り事業者との協議<br>12月13日　直江津菓子組合と協議<br>12月13日　市内ＳＮＳインフルエンサーと協議<br>12月17日　市内製造系事業者と協議<br><br>1月 7日　直江津商店連合会と協議<br><br>上記のほか、イベント等実施に係る打合せを実施 |

# ４　高田地域の取組

① 浄興寺大門通り修景整備基本計画策定業務委託
② 高田城枡形門再現可能性調査業務委託

# ①浄興寺大門通り修景整備基本計画策定業務委託等

上越市 JOETSU CITY

R6 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

業務受託業者

歓喜橋塗装 成果品

先行実施

（1）現状把握・課題整理

資料編P33～35

（2）道路の修景整備に関すること P44

- 他市の事例研究
- 整備の方向性
- 現状課題を踏まえた整備案（複数）
- イメージパース
- 沿線住民や地元団体が自主的に取り組む景観ルール

（4）修景整備計画（案） 検討中

- ○ 現状把握、課題整理
- ○ 他市整備事例
- ○ 修景コンセプト
- ○ イメージパース（複数枚）
- ○ 基本計画の平面図
- ○ 整備スケジュール
- ○ 概算工事費の算出
- ○ 概算維持管理費の算出
- ○ 景観ルール

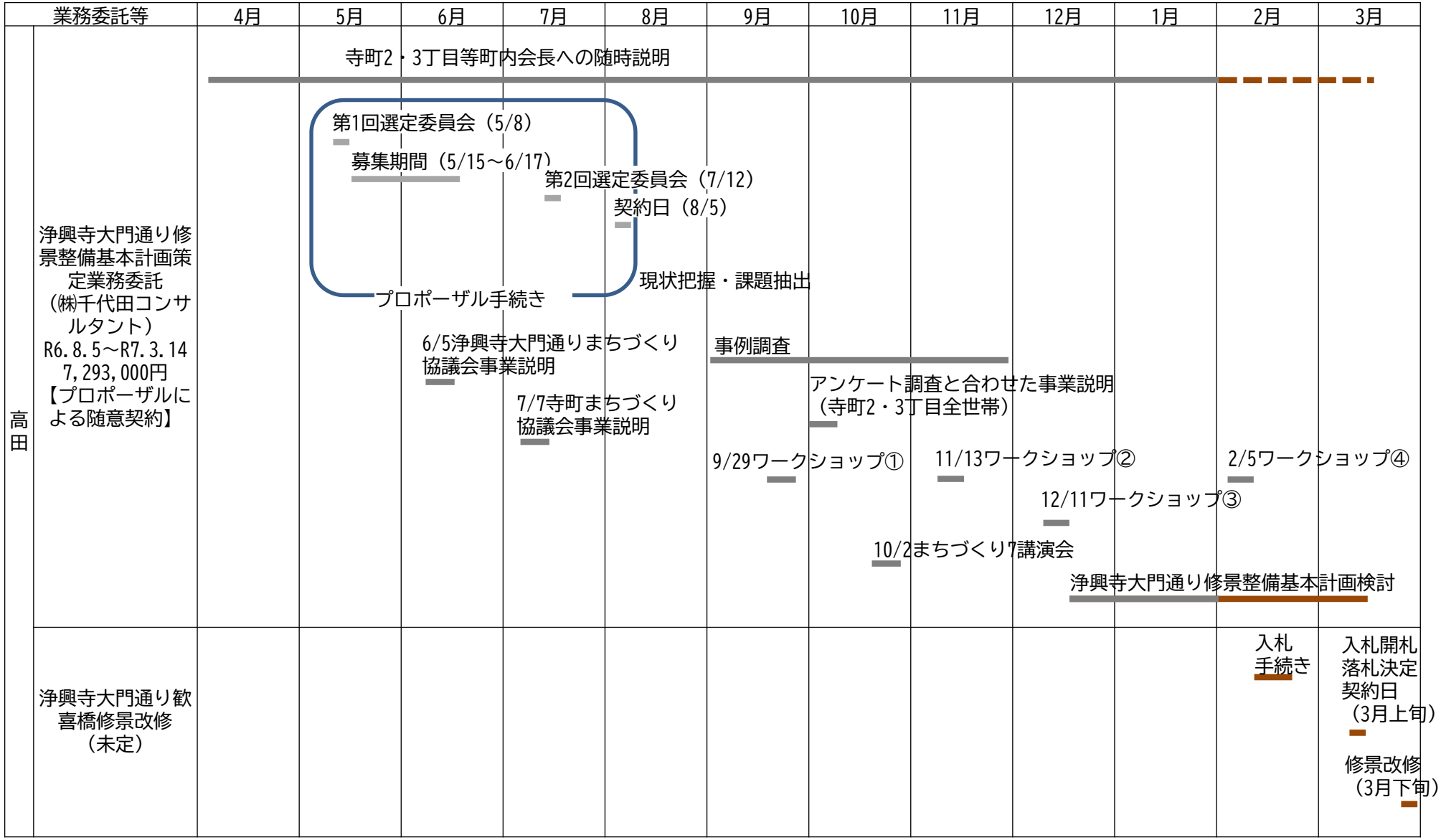
沿線住民、関係団体等

（3）ワークショップ P45

# ①浄興寺大門通り修景整備基本計画策定業務委託等

上越市 JOETSU CITY

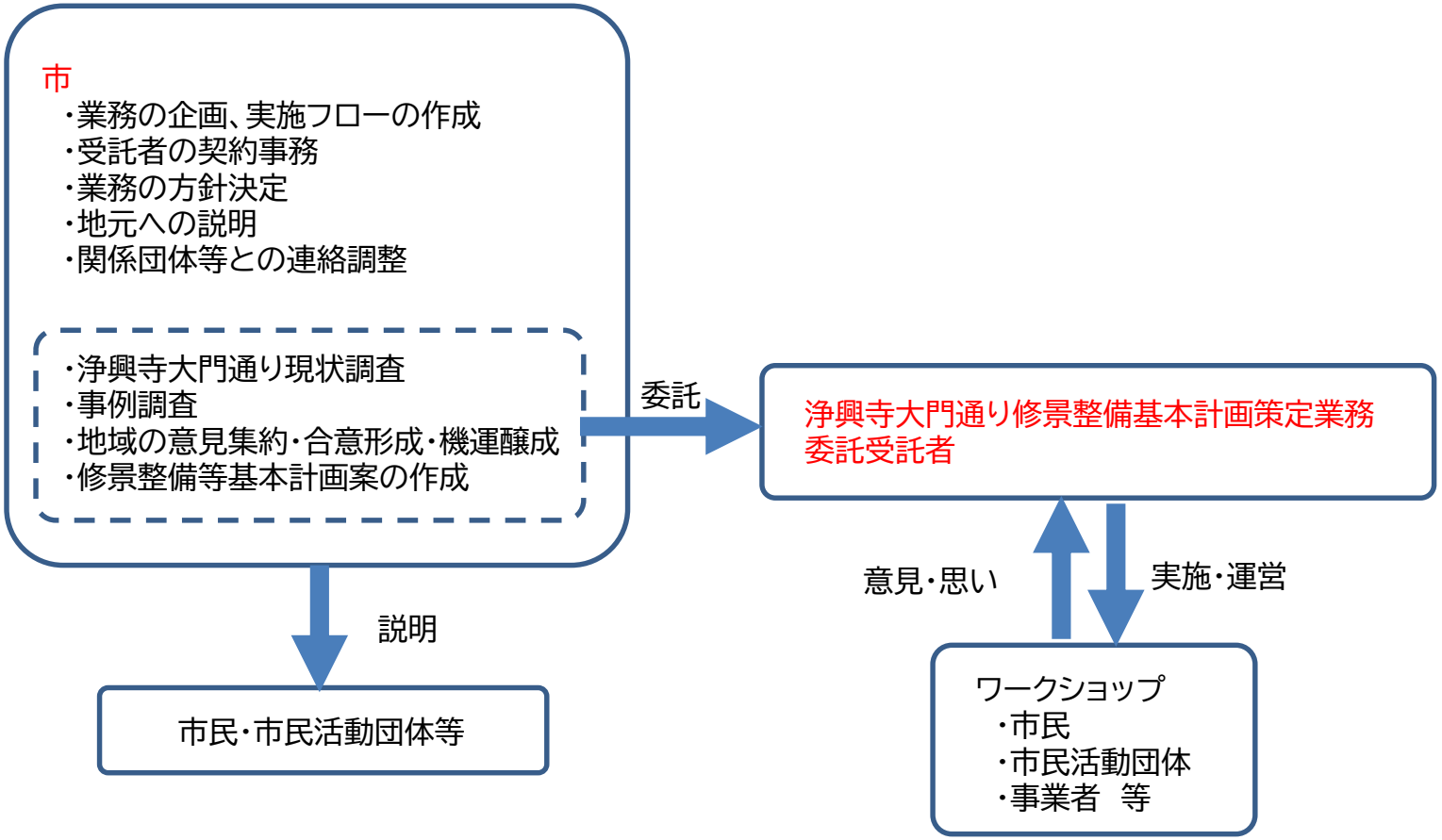
## ○　年間スケジュール（2月以降は予定）



# ①浄興寺大門通り修景整備基本計画策定業務委託

上越市 JOETSU CITY

○　実施体制



# ①-⑵道路の修景整備に関すること

上越市 JOETSU CITY

## ○　無電中化

| 地中化 | | 地中化以外 | |
|---|---|---|---|
| 通常型 | 柱上機器方式 | 裏配線 | 軒下配線 |
| 電線共同溝の整備等に関する特別措置法に基づき、道路の地下空間を活用して電力線・通信線等を収容する管路等を埋設(道路付属物)する無電柱化の手法 | 歩道幅員が充分でない、歩車道区分がない等、地上機器(変圧器、多回路開閉器等)が設置できない場合に、その代替として街路灯に変圧器等の機器を設置し、電線類を地中化する整備方式 | 無電柱化したい主要な通りの裏通り等に電線類を設置し、主要な通りの沿道の需要家への引込みを裏通りから行い、主要な道路を無電柱化する手法 | 無電柱化したい通りの脇道に電柱を設置し、そこから引き込む電線を沿道家屋の軒下又は軒先に配置する手法 |

## ○　景観舗装

車道の舗装は、アスファルト舗装が一般的であるが、道路景観の要素の中で最も面積を占めるため修景整備における影響が大きい。
舗装材は、雪国という地域の特性を踏まえて検討している。

現　　状

イメージパース

型押しアスファルト舗装

半たわみ性舗装(景観仕様)

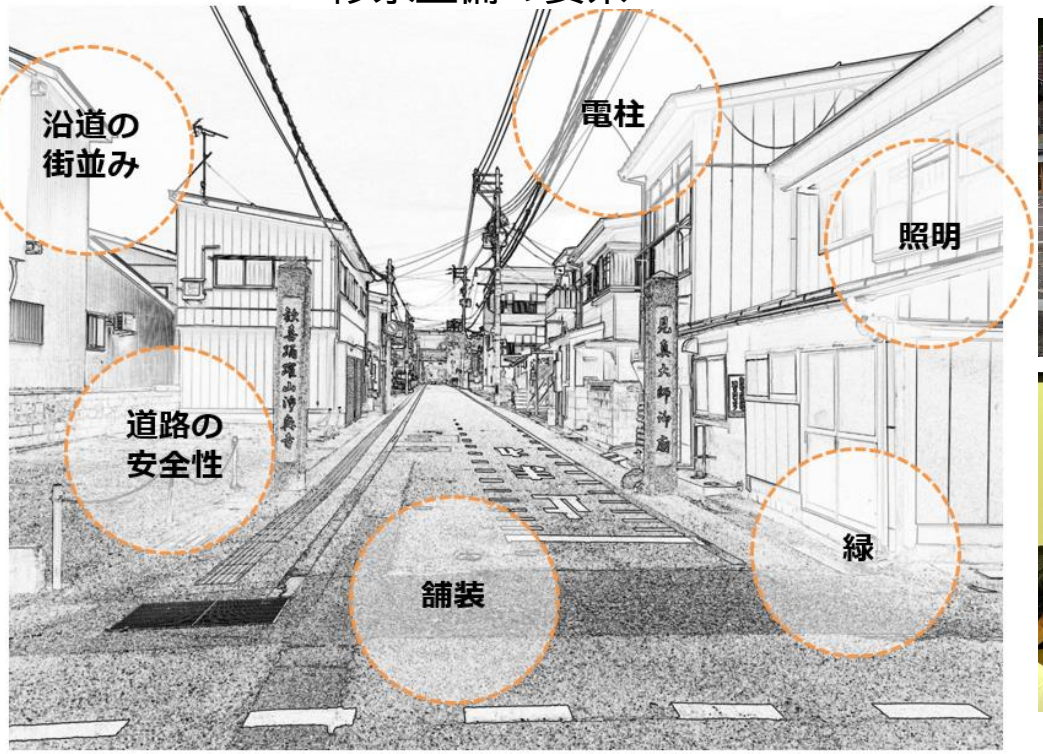
# ①-(3)ワークショップ

上越市 JOETSU CITY

## ○　ワークショップ

| 区分 | 日時 | 内容 | 会場 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 令和6年9月29日（日）<br>13：30～17：00 | 浄興寺大門通りを歩いて、現状や困っていること等を話そう | 寺町二丁目町内会館 | 15人 |
| 第2回 | 令和6年11月13日（水）<br>18：30～20：00 | 学識経験者と一緒に門前通り、浄興寺大門通りについて考えよう | | 10人 |
| 第3回 | 令和6年12月11日（水）<br>18：30～20：00 | 先進事例を学び、私たちができることは何か、景観ルールについて考えよう、そして浄興寺大門通りのあり方について考えよう | | 11人 |
| 第4回 | 令和7年2月5日（水）<br>18：30～20：00 | 浄興寺大門通りの将来像について | | |

### 修景整備の要素




### ワークショップの様子

# ②高田城枡形門再現可能性調査研究業務委託

上越市 JOETSU CITY

## 事前整理･調査

### （1）新たな資料の調査
調査中

・全国を対象に未確認の資料を探索する。

### （2）既存資料の再整理
P48
資料編36～39

・市が保有している資料、報告書を改めて整理する。

### （3）再現事例等調査
調査中

・全国での再現方法、整備費用、活用方法等を調査する。

### （4）ニーズ調査
P49

・市民や旅行代理店等を対象に観光のニーズ調査を行う。

令和7年度実施業務

### （5）課題の抽出、検討課題の整理、条件調査

・関連法令等整理
・関係機関・団体等ヒアリング
・課題解決方法の調査整理

### （6）再現方法の検討

・完成イメージの検討
・技術的課題の調査検討
・植物等環境へ及ぼす影響の調査

### （7）再現図面の作成・修正、概算工事費等の作成

・再現の平面図、立面図の作成・修正
・概算事業費の算出
・事業期間の検討

# ②高田城枡形門再現可能性調査研究業務委託

上越市 JOETSU CITY

## ○　年間スケジュール（令和7年2月以降は予定）

| 業務委託等 | | 令和6年度 | | | | | | | | | | | | 令和7年度 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 高田 | 高田城枡形門再現可能性調査研究業務委託（ランドブレイン㈱）R6.9.6～R8.2.27 10,615,000円（R6:4,994,000 R7:5,621,000）【競争入札】 | | | | | 入札指名通知日（8/22） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 入札書受付開始日（9/3） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 入札書受付締切日（9/5） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 入札開札・落札決定・契約日（9/6） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 新たな資料の調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 既存資料の再整理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 再現事例等調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | ニーズ調査 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | 課題の抽出、検討課題の整理、条件調査 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 再現方法の検討 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 再現図面の作成・修正、概算事業費等の作成 | | | | | | | |

# ②-⑵既存資料の再整理(一部)

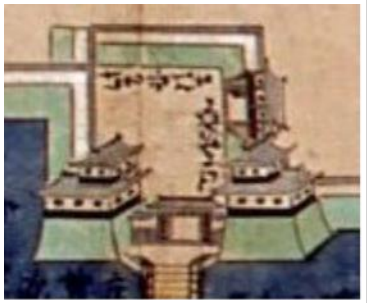
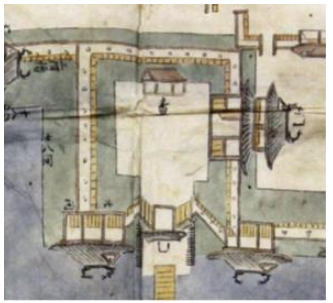


○ 枡形門の規模等の記載のある史料

| 資料 | 史料 | 西暦 | 対象 | 規模(抜粋) |
|---|---|---|---|---|
| ①高田城跡資料調査報告書 史料調査編 | 稲葉丹後守様時代 高田城図間尺 | 1685 - 1701 | 本城御門櫓 | 本城御門櫓瓦ヤ子3間<br>梁ハ8間<br>大柱厚サ1尺8寸ト幅3尺<br>次ノ柱厚サ1尺7寸ニ幅2尺<br>戸ビラ高サ1丈1尺横7尺4寸5分<br>戸カマチ7寸5分ニ6寸5分<br>内ノ子4寸5分ニ5寸<br>クグリ戸ヒラカマチ分6寸8分ニ6寸8分ニ5寸5分<br>高サ6尺5寸、横5尺5寸 |
| ①高田城跡資料調査報告書 史料調査編 | 稲葉丹後守様時代 高田城図間尺 | 1685 - 1701 | 西多門櫓 | 西多門櫓瓦ヤ子3間梁8間<br>土台ヨリ桁迄高サ1丈4尺 |
| ①高田城跡資料調査報告書 史料調査編 | 稲葉丹後守様時代 高田城図間尺 | 1685 - 1701 | 蹴出御門 | 蹴出御門瓦ヤ子大柱高サ1丈8尺<br>厚サ1尺7寸ニ幅2尺5寸<br>扉長サ1丈3尺ニ横7尺8寸<br>東ノ方5間半ニ西ノ方6間御橋迄左右大柵 |
| ③高田上本丸跡 学術調査研究報告書 | 榊原時代 高田城図 | | 土塁 | 高サ4間 |

※本城御門等については、資料編に記載

○ 枡形虎口(一部)

| No | 1 | 2 |
|---|---|---|
| 史料名 | 正保高田城絵図 | 越後国高田城絵図 |
| 所蔵 | 上越市立高田図書館 | 新発田市立図書館 |
| 年代 | 正保元年頃 | 松平光長・勤番時代 |
| 西暦 | 1644 - 1650頃 | 1665 - 1685 |
| 絵図(抜粋) |  |  |
| 枡形囲い | 北西角で土塁折り返し | 北西角の折り返しなし |
| 土塁・塀 | 土塁＋塀 | 土塁＋塀 |
| 番所 | なし(省略表記) | あり |
| 備考 | 隅櫓の土台が土塁より高く表現されている。 | |

## ○ アンケート調査【市民一般】

調査方法　郵送
調査期間　令和7年1月31日(金)～2月10日(月)まで
質問概要　・訪れる頻度と理由
・歴史や史跡の認知度
・枡形門の再現に対する考え等

## ○ ヒアリング【旅行代理店】

実施方法　旅行代理店5社程度にヒアリングを実施
(先方との調整により、オンライン、対面、電話のいずれかで実施)
実施期間　令和7年2月3日(月)～2月28日(金)まで(予定)
質問概要　・国内・外国人の城・城郭ニーズ
・城・城郭をメインにしたツアー造成、催行状況
・必要だと思うコンテンツ等